

都市計画マスタープラン策定のためのアンケート調査

(単純集計結果速報)

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査項目の概要	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査方法	1
(5) 配布回答結果	1
2. 調査結果の概要	2
(1) 集計方法	2
(2) グラフの見方	2
(3) 結果概要	3
3. 調査結果	9
(1) あなたご自身のことについて	9
(2) 現状の生活環境に対する評価について	15
(3) まちの将来像について	17
(4) まちづくりの取り組みについて	18
(5) 必要な施設について	26
(6) 自由意見記述欄の紹介について	28

巻末資料 アンケート調査票

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「富田林市都市計画マスタープラン」の見直しに向けて、市民の意向を参考に検討を進めるため、全世代と若者・子育て世代（18～39歳）を対象に実施したものです。

(2) 調査項目の概要（設問 20 及び自由意見）

- ①回答者の属性について（問 1～8）
- ②現状の生活環境に対する評価について（問 9）
- ③まちの将来像について（問 10）
- ④まちづくりの取り組みについて（問 11～19）
- ⑤必要な施設について（問 20）
- ⑥自由意見

（前回調査：設問 9 及び自由意見）

※ 前回調査：平成 17 年 11 月 29 日～17 年 12 月 3 日の期間で 3,000 人を対象

(3) 調査対象

1) 全世代調査

対象者	18歳以上の市民（平成 29 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳登録者）
	3,000 人（無作為抽出）

2) 若者・子育て世代調査

対象者	18歳～39歳の市民（平成 29 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳登録者）
	1,000 人（無作為抽出）

(4) 調査方法

1) 調査期間

平成 29 年 11 月 1 日発送 ～ 平成 29 年 11 月 15 日締切

注）締切り後も返送があったため、平成 29 年 12 月 22 日までを集計

2) 配布回答

郵送による配布および回答

(5) 配布回答結果

	配布数	回答数	回答率
全世代調査	3,000	970	32.3%
（前回調査）	（3,000）	（1,572）	（52.4%）
若者・子育て世代調査	1,000	220	22.0%

2. 調査結果の概要

(1) 集計方法

調査結果は、市民全体の意向を示す全世代調査と、若者や子育て世代の意向を示す若者・子育て世代調査とに区分して集計を行いました。

なお、若者・子育て世代の集計にあたっては、若者・子育て世代調査と全世代調査の10代～30代の合計回答数を対象に集計を行いました。

区 分	集計対象数	備 考
全世代調査	125	全世代調査のうち10～30代の回答者数
若者・子育て世代調査	220	
計	345	

(2) グラフの見方

- ・MAは複数回答、SAは単数回答を示しています。
- ・回答率(%)は、無回答を除く回答者数を基数として算出しています。
- ・単数回答(SA)の質問では、端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。
- ・複数回答(MA)の質問では、回答者数が基数のため集計結果の合計が100%を超えます。

(3)結果概要

1)あなたご自身のことについて

年齢（問2 SA）

～回答者は前回より高齢化に～

○全世代調査

- ・「60歳代」22.6%、「70歳代」21.7%、「50歳代」17.4%、39歳以下の若者・子育て世代13.0%。

前回調査 50代19.8%、60代19.1%、39歳以下の若者・子育て世代30.8%

○若者・子育て世代調査

- ・「30歳代」が55.4%、「20歳代」39.9%、「20歳未満」4.8%。

定住意向（問5 SA）

～“住み続けたい”は6.1ポイント増加し約88%に。若者・子育て世代は約7割～

○全世代調査

- ・「住み続けたい」87.7%、「市外に転出したい」8.9%

前回調査 「住み続けたい」81.6%、「市外に転出したい」10.3%

○若者・子育て世代調査

- ・「住み続けたい」71.6%、「市外に転出したい」21.9%

日常の買い物場所（問6 SA）

～日常品は富田林駅、金剛東地区周辺で約4割、日常品以外は大阪市等～

○全世代調査

- ・日常品の買い物場所は、「富田林駅周辺」22.2%、「金剛東地区周辺」20.1%、「金剛駅周辺」16.7%。
- ・日常品以外は「その他」30.7%、「金剛東地区周辺」17.7%、「市内の幹線道路沿道」17.0%。

○若者・子育て世代調査

- ・日常品の買い物場所は、「富田林駅周辺」21.6%、「金剛東地区周辺」20.5%、「金剛駅周辺」17.0%。
- ・日常品以外は「その他」45.3%、「市内の幹線道路沿道」14.1%、「住まいの近く」12.4%。

※「その他」の多くは大阪市で、和泉市などの近隣市も一部見られる。

買い物の交通手段（問7 MA）

～日常品は徒歩・自転車が約8割、自家用車が約7割～

～日常品以外は自家用車が約7割、鉄道が約3割。若者・子育て世代の鉄道利用が多い～

○全世代調査

- ・ 日常品の交通手段は、「自家用車」67.2%、徒歩(46.9%)・自転車(30.0%)は合わせて76.9%。
- ・ 日常品以外の交通手段は、「自家用車」74.1%、「鉄道」が31.3%。

○若者・子育て世代調査

- ・ 日常品の交通手段は、「自家用車」71.4%、徒歩(42.9%)・自転車(35.3%)は合わせて78.2%。
- ・ 日常品以外の交通手段は、「自家用車」71.1%、「鉄道」42.3%。

(2)現状の生活環境に対する評価について

現状の生活環境に対する評価（問9 SA）

～「歴史的まちなみの景観」、「国道や府道など幹線道路のネットワーク」の評価が高い～

○全世代調査

- ・ 満足度は、特に「歴史的まちなみの景観」、「国道や府道など幹線道路のネットワーク」、「公共下水道・浄化槽の整備」、「散歩ができる規模の大きな公園」、「山並みや河川などの自然の景観」が高い。

前回調査（SA） 「歴史的まちなみの景観」、「幹線道路」、「山並みや河川などの自然の景観」

～不満度は、前回と同様“段差の解消”が一位、“バス交通”が上位に～

- ・ 不満度は、特に「高齢者や障がい者に配慮した段差の解消」、「スポーツ施設などを備えた公園」、「路線バスの充実（便数、エリアなど）」、「コミュニティバスや福祉タクシーなどの充実」、「空き家・空き地対策」「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が高い。

前回調査（SA）

「高齢者等に配慮したバリアフリーの推進」、「防災組織の強化や避難所への誘導対策」、「駅前広場や駐車場・駐輪場」、「交通安全を重視した歩道や通学路」が上位、公共交通は低位

○若者・子育て世代調査

- ・ 特に「歴史的まちなみの景観」、「山並みや河川などの自然の景観」、「国道や府道など幹線道路のネットワーク」、「良好な住宅地の景観」、「良好な住宅地環境」が高い。
- ・ 不満度は、特に「路線バスの充実（便数、エリアなど）」、「スポーツ施設などを備えた公園」、「高齢者や障がい者に配慮した段差の解消」、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が高い。

(3)まちの将来像について

まちの将来像（問 10 MA3 択）

～“買い物に便利なまち”が大きく増加し一位。“子育てしやすいまち”も多い～

○全世代調査

- ・「買い物に便利なまち」61.9%、「医療・福祉施設などの環境が整った子育てしやすいまち」57.8%、「閑静で落ち着いた雰囲気のみち」41.7%、「交通ネットワークが整ったまち」36.9%。

前回調査（3 択）

「夜も安全で、健全なまち」70.7%、「交通の便が良く、道路の整ったまち」41.2%、「閑静で落ち着いた雰囲気のみち」38.1%、「買い物に便利なまち」は 22.9%

○若者・子育て世代調査

- ・「医療・福祉施設などの環境が整った子育てしやすいまち」61.1%、「買い物に便利なまち」54.4%、「閑静で落ち着いた雰囲気のみち」43.9%、「交通ネットワークが整ったまち」38.3%。

(4)まちづくりの取り組みについて

市街化調整区域の土地利用（問 11 SA）

～市街化調整区域は保全・育成から計画的な土地活用に～

○全世代調査

- ・「幹線道路沿道に限定して、計画的な土地利用を進める」32.6%、「駅周辺に限定して、計画的な土地利用を進める」26.1%、「現状のまま、市街化を抑制する」19.5%。

前回調査（SA）

「積極的に、農地や山林を保全・育成する」23.8%、「積極的に、都市的整備・開発を進める」21.8%、「現状のまま、市街化を抑制する」17.4%、「区域を限定して、都市的整備・開発を進める」は 11.8%

○若者・子育て世代調査

- ・「幹線道路沿道に限定して、計画的な土地利用を進める」37.1%、「駅周辺に限定して、計画的な土地利用を進める」27.4%で、「現状のまま、市街化を抑制する」12.9%。

市街化調整区域の土地活用（問 12 SA）※問 11 計画的な土地利用の回答者限定

～土地活用は“集客力のある商業施設が約 5 割～

○全世代調査

- ・「集客力のある商業施設」47.0%、「医療・福祉サービスなどの施設」26.1%、「コンビニやレストランなどのサービス施設」12.8%。

○若者・子育て世代調査

- ・「集客力のある商業施設」52.1%、「コンビニやレストランなどのサービス施設」18.9%、「医療・福祉サービスなどの施設」16.8%。

交通施設の重要な取組（問 13 MA3 択）

～“生活道路の整備”が大きく増加、若者・子育て世代は“歩道や通学路の整備”“公共交通”～

○全世代調査

- ・「身近に利用する生活道路の整備」49.2%、「交通安全を重視した歩道や通学路の整備」48.1%。

前回調査（MA2 択）

「交通安全を重視した歩道や通学路」47.3%、「高齢者や障害者に配慮した段差解消等」35.9%、「身近に利用する生活道路等」24.0%

○若者・子育て世代調査

- ・「交通安全を重視した歩道や通学路の整備」50.7%、「路線バスの充実（32.6%）」、「鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化（25.2%）」などの公共交通の取り組みが多い。

公園・緑地の重要な取組（問 14 MA2 択）

～前回と同様に“子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園”が一位～

○全世代調査

- ・「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園」が特に多く 53.9%

前回調査（MA2 択）

「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園」60.9%、「散歩ができる規模の大きな公園」32.9%など

○若者・子育て世代調査

- ・「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園」47.4%、「安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理」40.1%、次いで「散歩ができる規模の大きな公園」、「スポーツ施設などを備えた公園」が同程度。

下水道・河川の重要な取組（問 15 MA2 択）

～“親水”から“河川の維持管理”、“河川の改修”に～

○全世代調査

- ・「ごみの清掃など河川の維持管理」39.5%、「浸水被害などを防止する河川の改修」37.9%。

前回調査（MA2 択）

「川に親しめる河川やレクリエーション空間」48.1%、「公共下水道・浄化槽」47.0%、河川改修は 17.6%

○若者・子育て世代調査

- ・「浸水被害などを防止する河川の改修」38.0%、「ごみの清掃など河川の維持管理」37.7%、「公共下水道・浄化槽の整備」32.2%。

景観形成の重要な取組（問 16 MA2 択）

～ “歴史的まちなみの景観” が大きく増加、若者・子育て世代は “良好な住宅地の景観” ～

○全世代調査

- ・ 「山並みや河川などの自然の景観」56.7%、「良好な住宅地の景観」54.9%、「歴史的まちなみの景観」44.5%。

前回調査（MA2 択）

「良好な住宅地の景観」31.9%、「山並みや河川などの自然の景観」30.5%、「歴史的まちなみの景観」は17.4%

○若者・子育て世代調査

- ・ 「良好な住宅地の景観」59.9%、「山並みや河川などの自然の景観」51.0%、「歴史的まちなみの景観」48.4%。

防災対策の重要な取組（問 17 MA2 択）

“防災組織の強化や避難所への誘導対策” から “水害や土砂災害などへの対策” が一位に

○全世代調査

- ・ 「水害や土砂災害などへの対策」57.0%、「個人の建物の耐震・耐火性能の向上」42.6%、「避難場所などの防災空間の確保」39.7%。

前回調査（MA2 択）

「防災組織の強化や避難所への誘導対策」51.4%、「避難場所や幹線道路などの防災空間の整備」48.1%、「個人の建物の耐震・耐火性能の向上」38.1%（「水害や土砂災害などへの対策」の設問無し）

※平成 17 年（2005 年）8 月 16 日宮城県沖（最大震度 6 弱）、8 月 21 日新潟県中越地方（最大震度 5 強）

○若者・子育て世代調査

- ・ 「水害や土砂災害などへの対策」62.1%、「個人の建物の耐震・耐火性能の向上」47.3%。

その他の都市施設の重要な取組（問 18 MA2 択）

～ “教育施設や福祉施設などの公共施設の整備” が大きく増加し一位に～

○全世代調査

- ・ 「教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備」40.2%、「空き家、空き地対策」が31.7%、「都市機能（医療・福祉・商業など）や生活拠点の集約化」29.7%、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」28.4%、「良好な住宅地環境」27.9%と同程度。

前回調査（MA2 択）

「高齢者や障害者に配慮したバリアフリーの推進」36.8%、「駅周辺にふさわしい商業施設の誘致」30.3%、「良好な住宅地環境」26.9%、「教育施設や福祉施設などの公共施設の整備」は24.1%

○若者・子育て世代調査

- ・「教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備」42.6%、「良好な住宅地環境」が31.2%、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」29.4%。

優先して取り組むべき分野（問19 SA）

～“防災対策”から“交通施設”に～

○全世代調査

- ・「交通施設」31.2%、「防災対策」25.1%、「その他の都市整備」21.1%。

前回調査（SA）

「防災対策」29.4%、「交通施設の整備」26.8%、「下水道・河川の整備」12.3%

○若者・子育て世代調査

- ・「交通施設」30.5%、「その他の都市整備」26.6%、「防災対策」20.1%、「公園・緑地」16.2%。

(5)必要な施設について

必要な施設（問20 MA3 択）

～どの場所でも“商業施設”“医療施設”が多く、若者・子育て世代は身近に“公園・広場”“子育て支援施設”も多い～

○全世代調査

- ・ 鉄道駅周辺では、「店舗やコンビニなどの商業施設」56.9%、「駐車場・駐輪場」47.2%、「銀行や郵便局」43.5%、「病院や診療所などの医療施設」30.3%。
- ・ 幹線道路沿道では、「店舗やコンビニなどの商業施設」52.3%、「病院や診療所などの医療施設」42.6%。
- ・ 住まいの近くでは、「店舗やコンビニなどの商業施設」46.3%、「病院や診療所などの医療施設」42.2%、「公園や広場」30.5%、「銀行や郵便局」26.3%。

○若者・子育て世代調査

- ・ 鉄道駅周辺では、「店舗やコンビニなどの商業施設」68.0%、「銀行や郵便局」51.3%、「駐車場・駐輪場」46.6%。
- ・ 幹線道路沿道では、「店舗やコンビニなどの商業施設」67.0%、「病院や診療所などの医療施設」43.1%。
- ・ 住まいの近くでは、「店舗やコンビニなどの商業施設」50.7%、「公園や広場」42.1%、「病院や診療所などの医療施設」38.6%、「保育所・幼稚園などの子育て支援施設」29.7%。

3. 調査結果

(1)あなたご自身のことについて

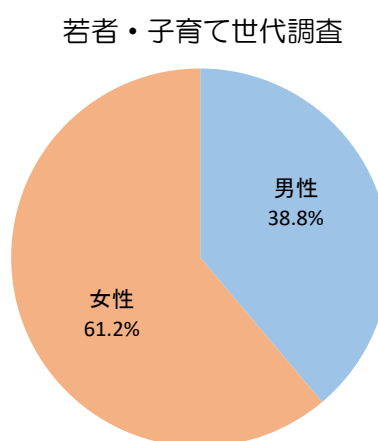
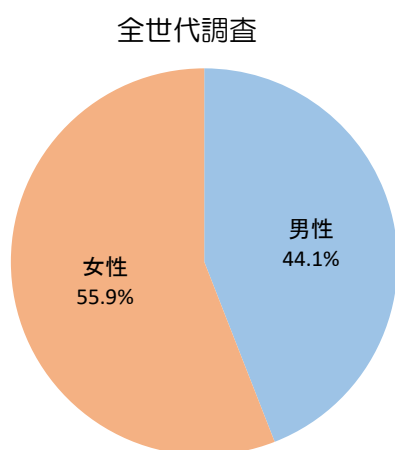
性別（問1 SA）

○全世代調査

- 「女性」の回答者が55.9%、「男性」の回答者が44.1%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「女性」の回答者が61.2%、「男性」の回答者が38.8%となっています。



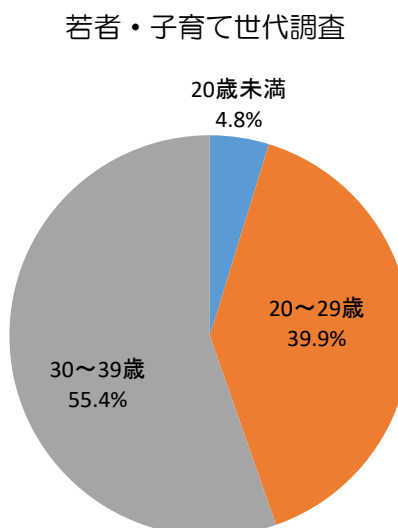
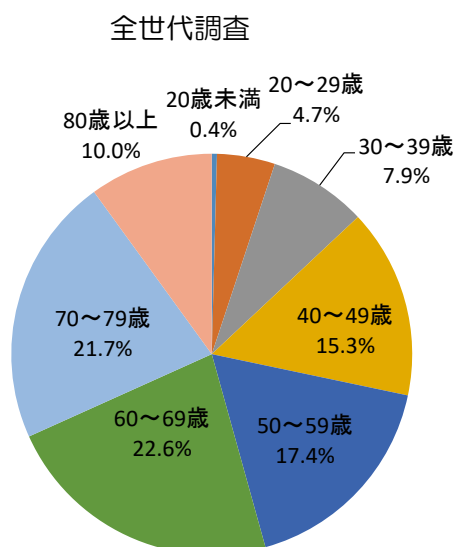
年齢（問2 SA）

○全世代調査

- 「60歳代」の回答者が22.6%と最も多く、次いで「70歳代」が21.7%、「50歳代」が17.4%で、60歳代以上が54.3%と半数以上を占め、39歳以下の若者・子育て世代は13.0%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「30歳代」の回答者が55.4%と最も多く、次いで「20歳代」が39.9%、「20歳未満」が4.8%となっています。



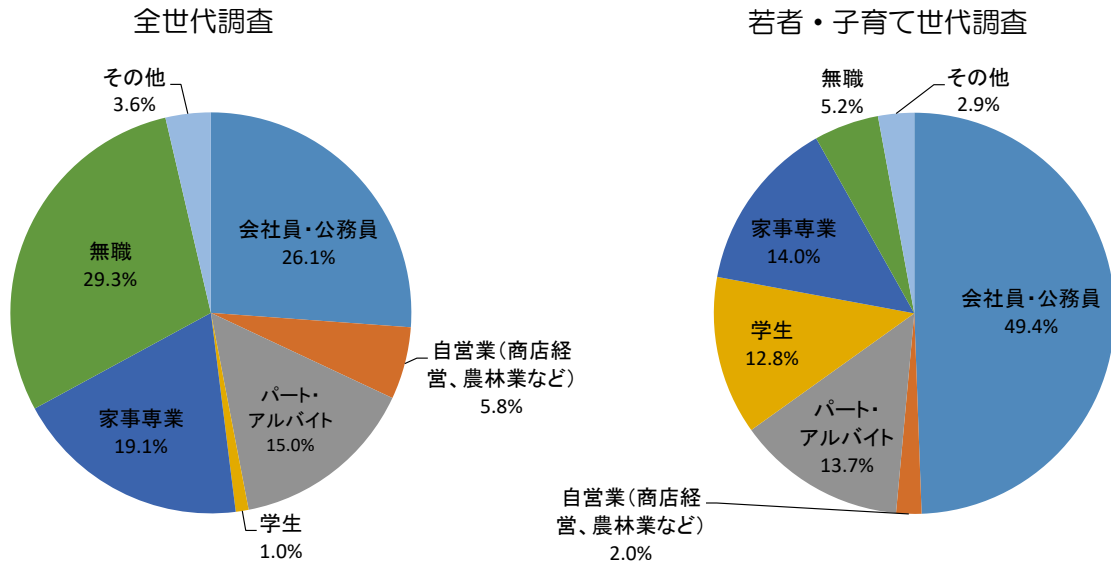
職業（問3 SA）

○全世代調査

- 「無職」と回答された方が29.3%と最も多く、次いで「会社員・公務員」が26.1%で、「家事専業」が19.1%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「会社員・公務員」と回答された方が49.4%と最も多く、次いで「家事専業」が14.0%で、「パート・アルバイト」が13.7%となっています。



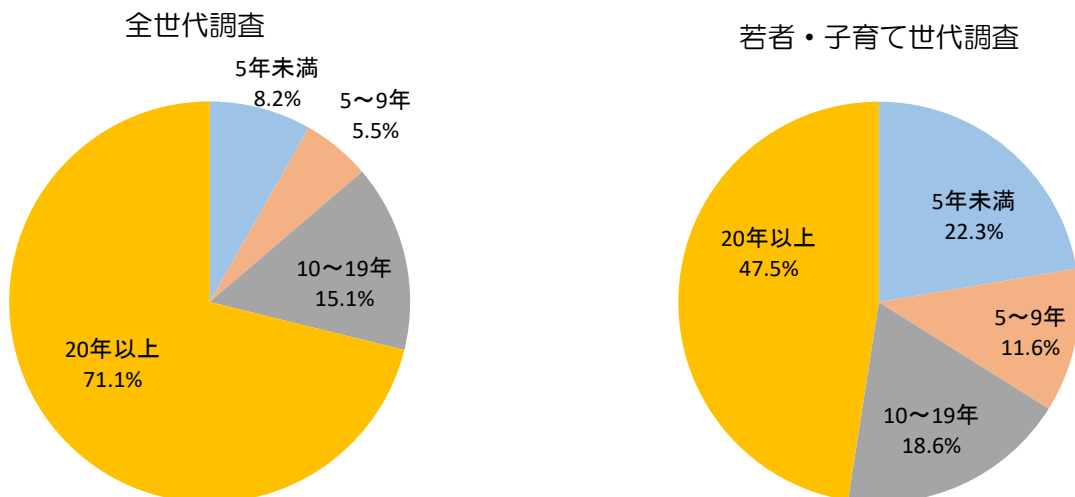
居住年数（問4 SA）

○全世代調査

- 「20年以上」と回答された方が71.1%と最も多く、次いで「10～19年」が15.1%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「20年以上」と回答された方が47.5%と最も多く、20年未満とほぼ程度となっています。



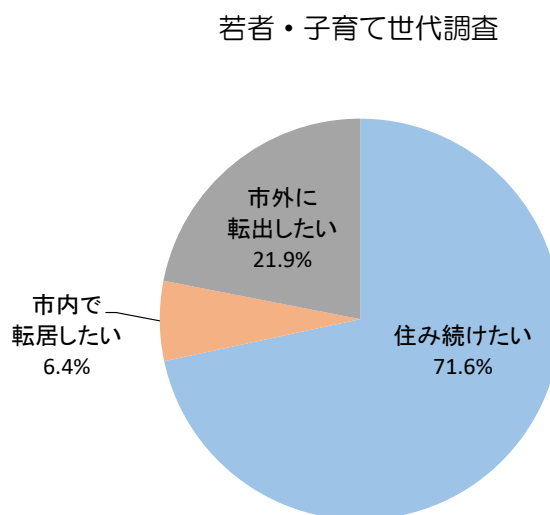
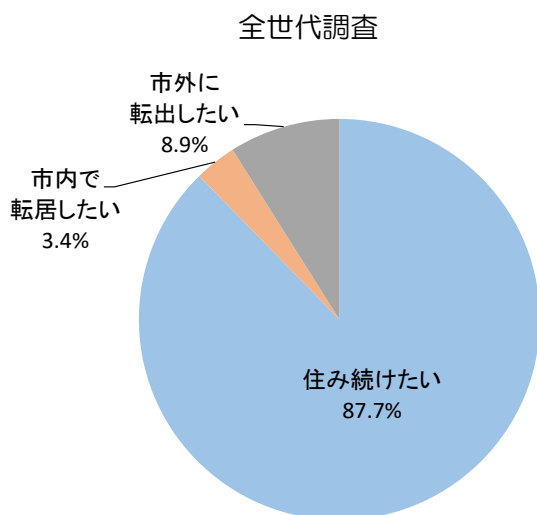
定住意向（問5 SA）

○全世代調査

- 「住み続けたい」と回答された方が 87.7%と最も多く、「市外に転出したい」は 8.9%となっています。

○若者・子育て世代調査

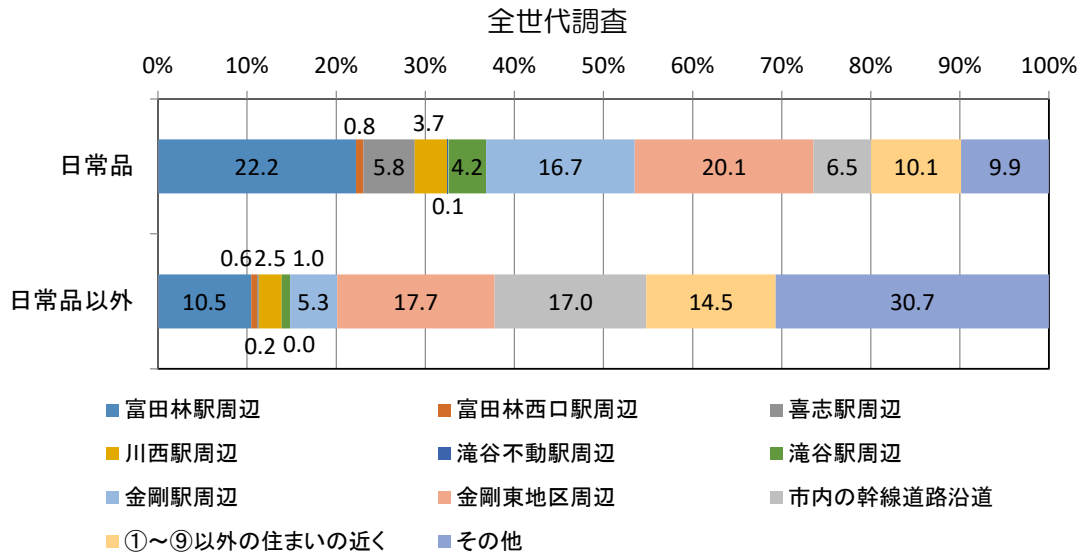
- 「住み続けたい」と回答された方が 71.6%と最も多く、「市外に転出したい」は 21.9%となっています。



日常の買い物場所（問6 SA）

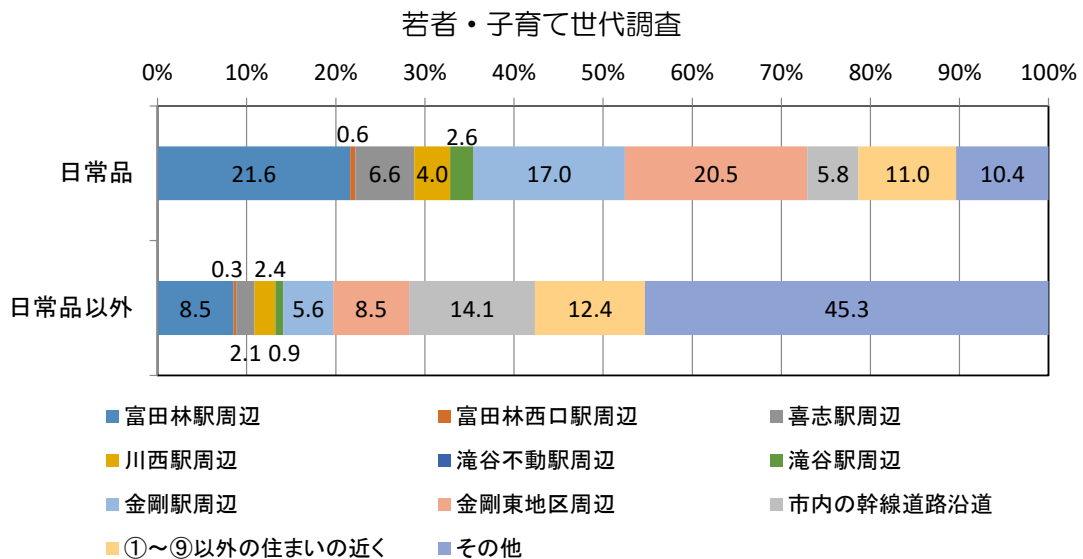
○全世代調査

- 日用品の買い物場所は、「富田林駅周辺」が22.2%、「金剛東地区周辺」が20.1%、「金剛駅周辺」が16.7%と多くなっています。
 - 日用品以外は「その他」が30.7%と最も多く、次いで「金剛東地区周辺」が17.7%、「市内の幹線道路沿道」が17.0%となっています。
- ※「その他」の多くは大阪市で、和泉市などの近隣市も一部あげられている。



○若者・子育て世代調査

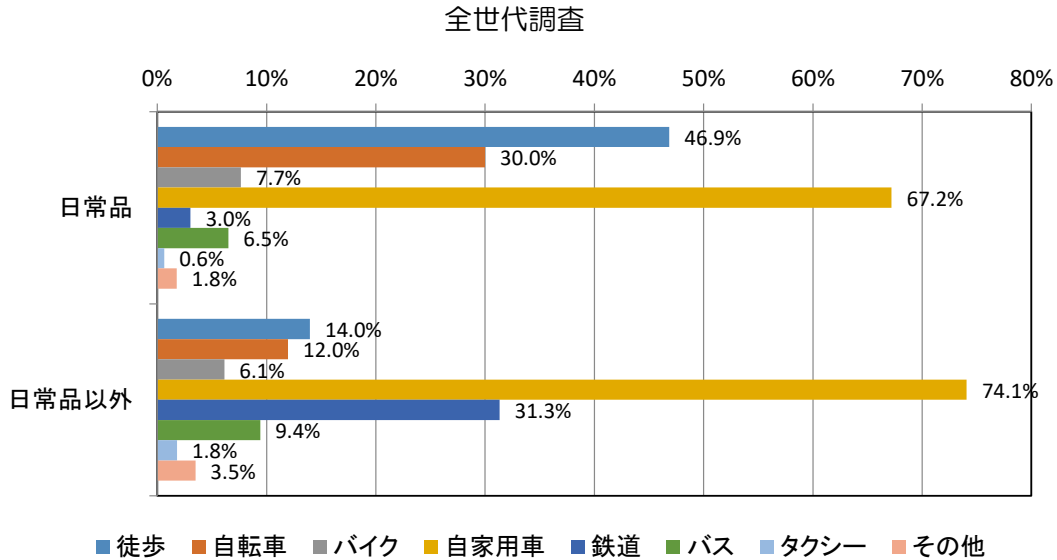
- 日用品の買い物場所は、「富田林駅周辺」が21.6%、「金剛東地区周辺」が20.5%、「金剛駅周辺」が17.0%と多くなっています。
 - 日用品以外は「その他」が45.3%と最も多く、次いで「市内の幹線道路沿道」が14.1%、「住まいの近く」が12.4%となっています。
- ※「その他」の多くは大阪市で、和泉市などの近隣市も一部あげられている。



買い物の交通手段（問7 MA）

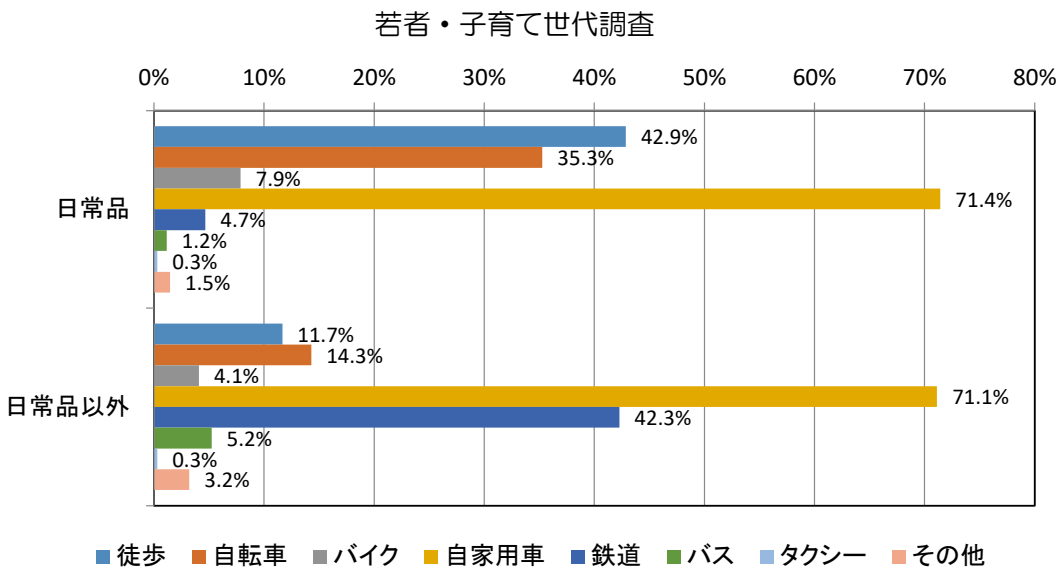
○全世代調査

- 日常品の交通手段は、「自家用車」が67.2%で最も多くなっていますが、徒歩（46.9%）・自転車（30.0%）は合わせて76.9%となっています。
- 日常品以外の交通手段は、「自家用車」が74.1%と最も多く、次いで「鉄道」が31.3%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 日常品の交通手段は、「自家用車」が71.4%で最も多くなっていますが、徒歩（42.9%）・自転車（35.3%）は合わせて78.2%となっています。
- 日常品以外の交通手段は、「自家用車」が71.1%と最も多く、次いで「鉄道」が42.3%となっています。



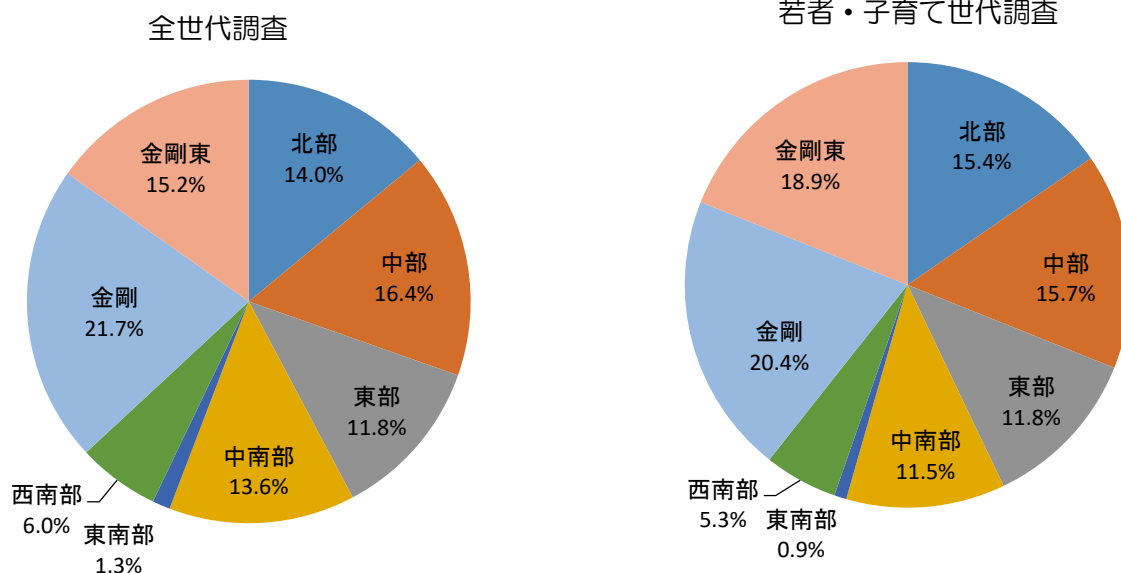
居住地区（問8 SA）

○全世代調査

- 「金剛」が21.7%と最も多く、次いで「中部」が16.4%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「金剛」が20.4%と最も多く、次いで「金剛東」が18.9%となっています。



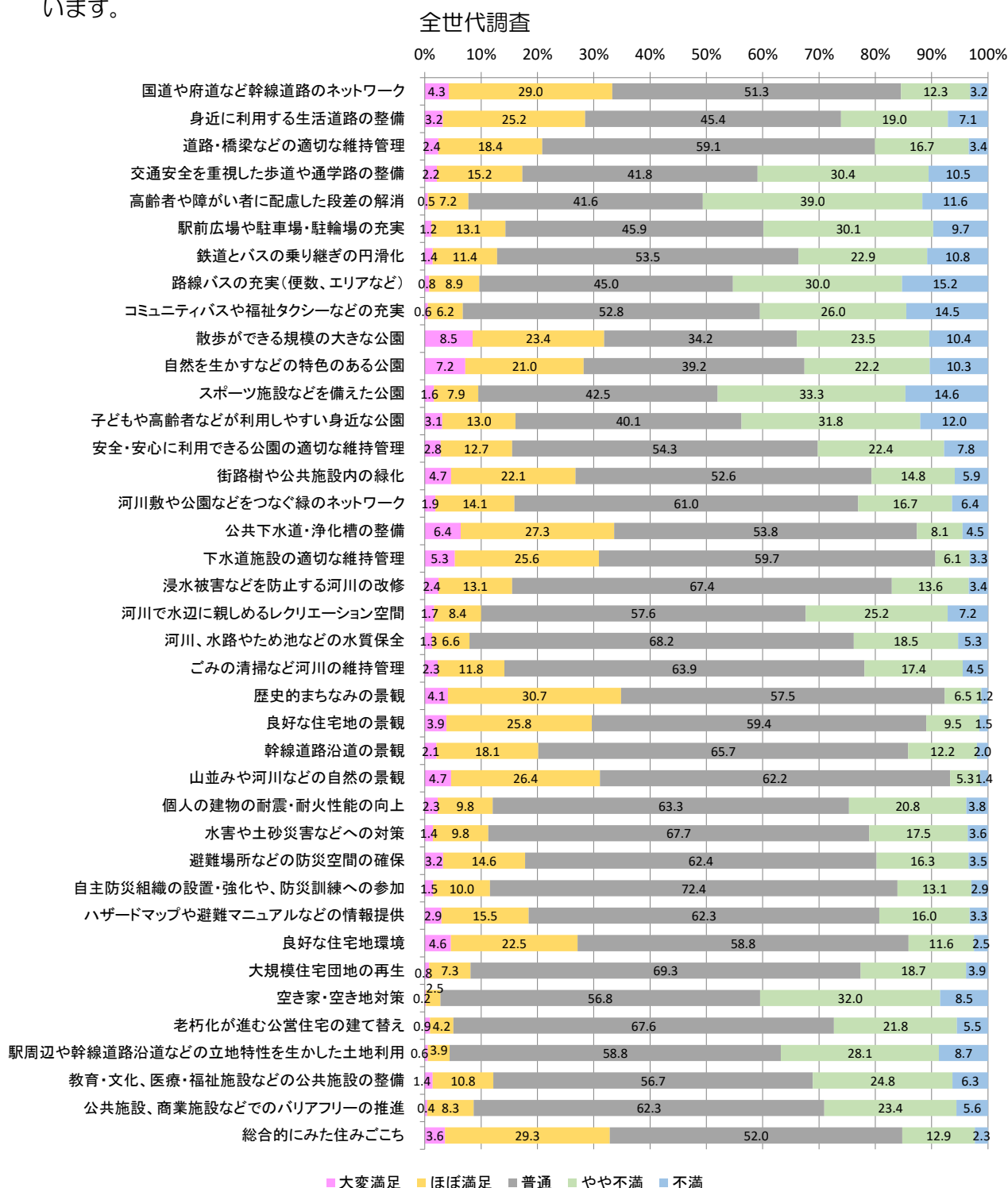
地域名	町丁目
① 北部	旭ヶ丘町、粟ヶ池町、梅の里、川面町1丁目、喜志、喜志新家町、喜志町、木戸山町、西条町、桜井町、通法寺町、平町、南旭ヶ丘町、宮町
② 中部	川面町2丁目、寿町、清水町、昭和町、新堂、谷川町、常盤町、富田林町、中野、中野町、中野町西、中野町東、富美ヶ丘町、本町、緑ヶ丘町、若松町、若松町西、若松町東
③ 東部	かがり台、川向町、北大伴町、楠町、西板持町、東板持町、別井、南大伴町、楠風台、山中田町、山手町
④ 中南部	嬉、彼方、甲田、桜ヶ丘町、新家1丁目・2丁目(大阪外環状線以東)、西板持、錦織北、錦織中、錦織東、錦織南、錦ヶ丘町、伏見堂、不動ヶ丘町、宮甲田町、美山台、横山
⑤ 東南部	佐備、甘南備、龍泉
⑥ 西南部	金剛伏山台、須賀、新家2丁目(大阪外環状線以西)、廿山、錦織、伏山
⑦ 金剛	青葉丘、加太、久野喜台、五軒家、新青葉丘町、高辺台、寺池台、藤沢台3・4丁目
⑧ 金剛東	向陽台、小金台、津々山台、藤沢台1・2・5～7丁目

(2)現状の生活環境に対する評価について

現状の生活環境に対する評価（問9 SA）

○全世代調査

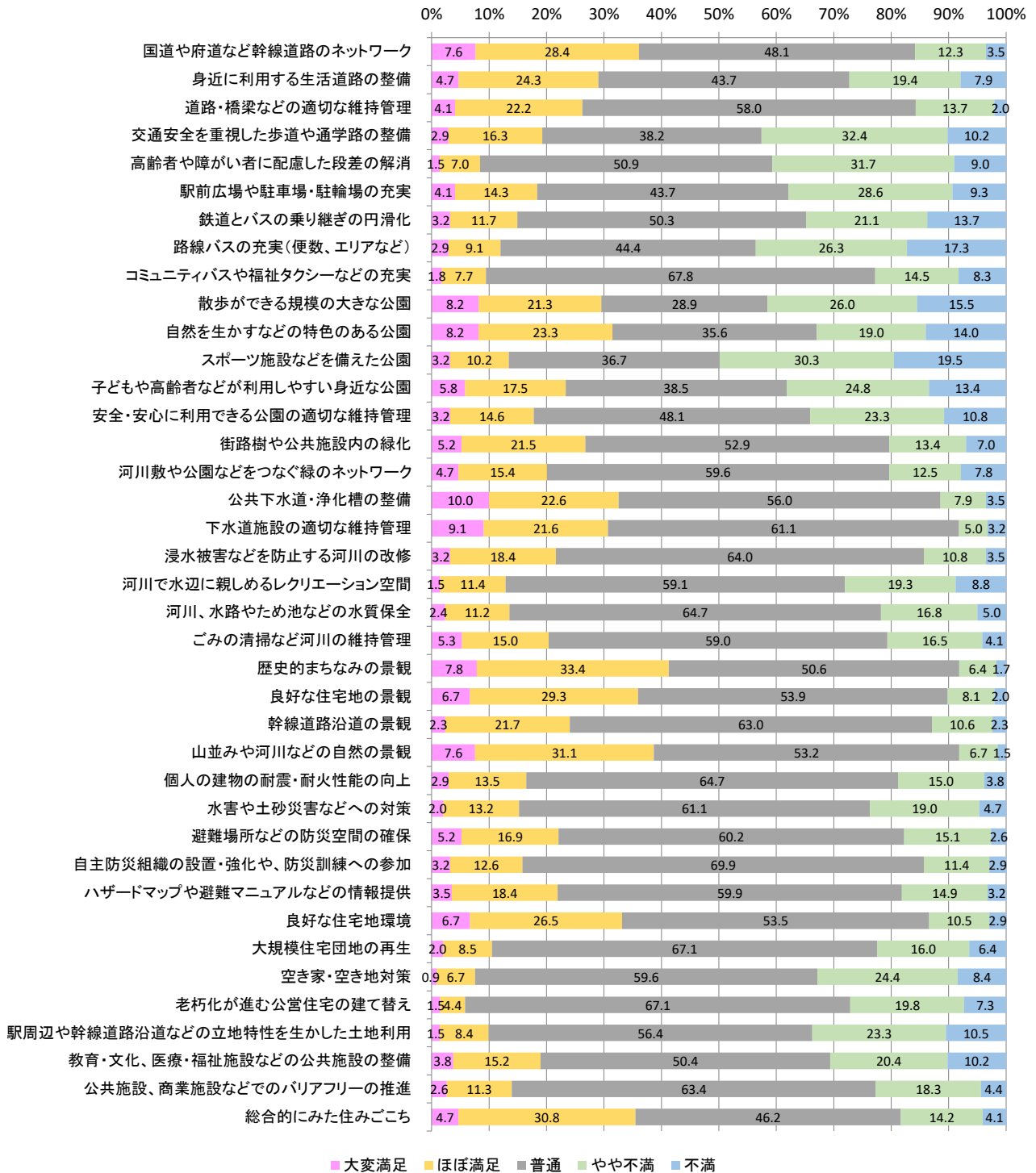
- 満足度は、特に「歴史的まちなみの景観」、「公共下水道・浄化槽の整備」、「国道や府道など幹線道路のネットワーク」、「散歩ができる規模の大きな公園」、「山並みや河川などの自然の景観」が高くなっています。
- 不満度は、特に「高齢者や障がい者に配慮した段差の解消」、「スポーツ施設などを備えた公園」、「路線バスの充実（便数、エリアなど）」、「コミュニティバスや福祉タクシーなどの充実」、「空き家・空き地対策」、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が高くなっています。



○若者・子育て世代調査

- 満足度は、特に「歴史的まちなみの景観」、「山並みや河川などの自然の景観」、「国道や府道など幹線道路のネットワーク」、「良好な住宅地の景観」、「良好な住宅地環境」が高くなっています。
- 不満度は、特に「路線バスの充実（便数、エリアなど）」、「スポーツ施設などを備えた公園」、「高齢者や障がい者に配慮した段差の解消」、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が高くなっています。

若者・子育て世代調査

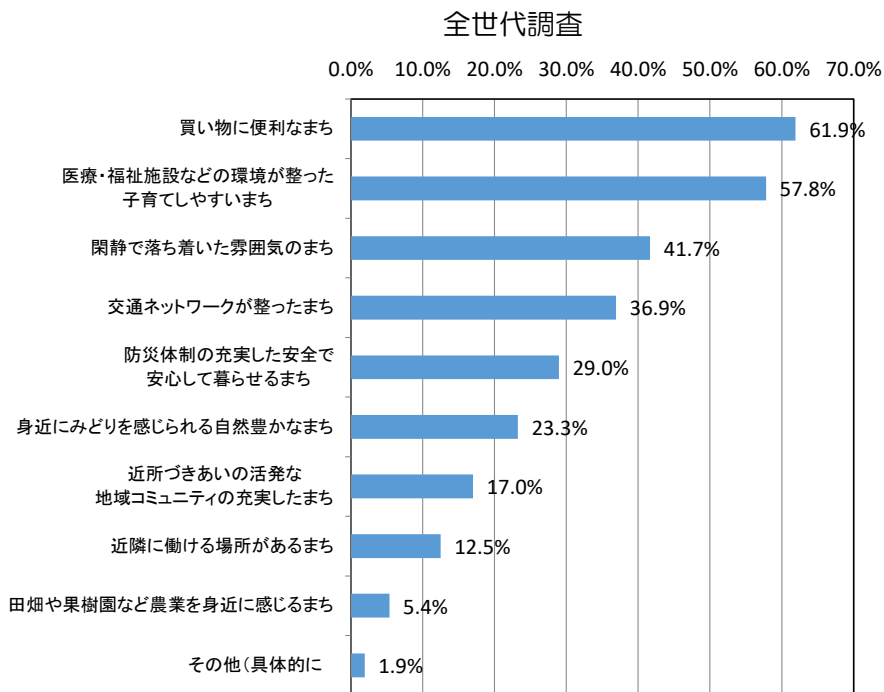


(3)まちの将来像について

まちの将来像（問 10 MA）

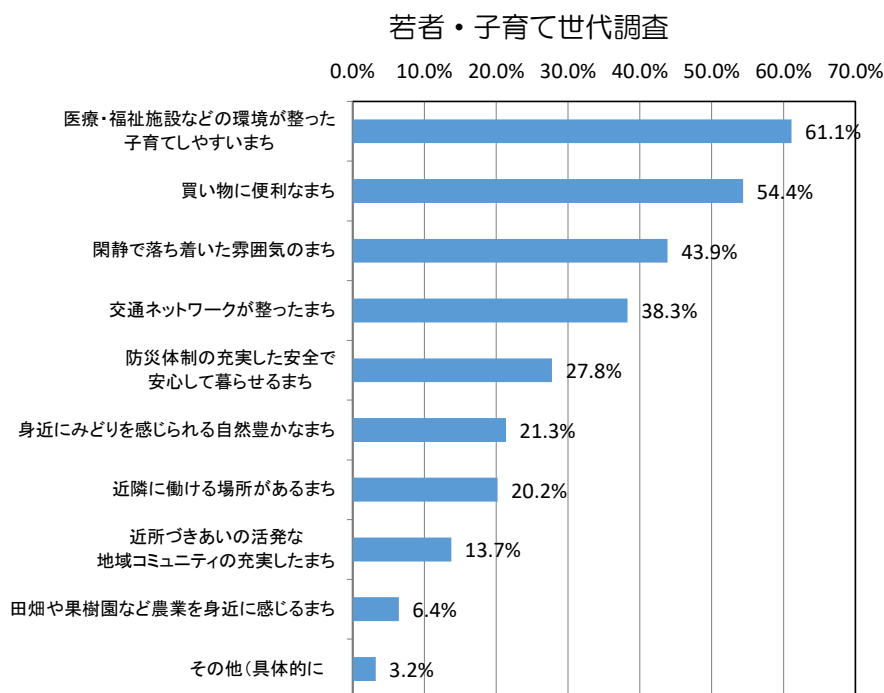
○全世代調査

- 「買い物に便利なまち」が61.9%と最も多く、次いで「医療・福祉施設などの環境が整った子育てしやすいまち」が57.8%、「閑静で落ち着いた雰囲気のみち」が41.7%、「交通ネットワークが整ったまち」が36.9%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「医療・福祉施設などの環境が整った子育てしやすいまち」が61.1%と最も多く、次いで「買い物に便利なまち」が54.4%、「閑静で落ち着いた雰囲気のみち」が43.9%、「交通ネットワークが整ったまち」が38.3%となっています。



(4)まちづくりの取り組みについて

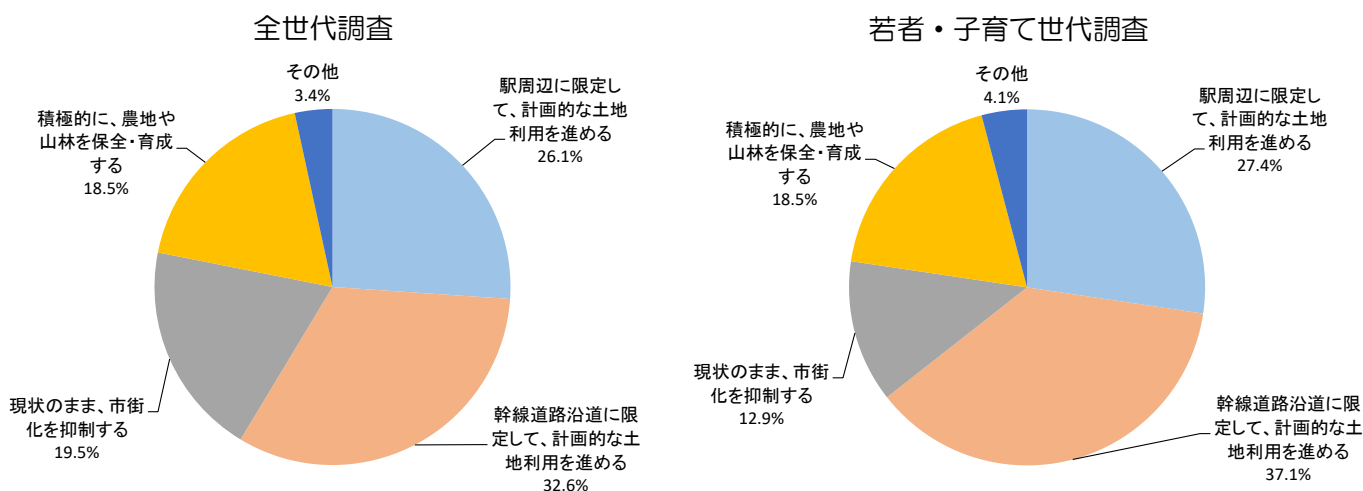
市街化調整区域の土地利用（問 11 SA）

○全世代調査

- 「幹線道路沿道に限定して、計画的な土地利用を進める」が32.6%と最も多く、次いで「駅周辺に限定して、計画的な土地利用を進める」が26.1%で、「現状のまま、市街化を抑制する」は19.5%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「幹線道路沿道に限定して、計画的な土地利用を進める」が37.1%と最も多く、次いで「駅周辺に限定して、計画的な土地利用を進める」が27.4%で、「現状のまま、市街化を抑制する」は12.9%となっています。



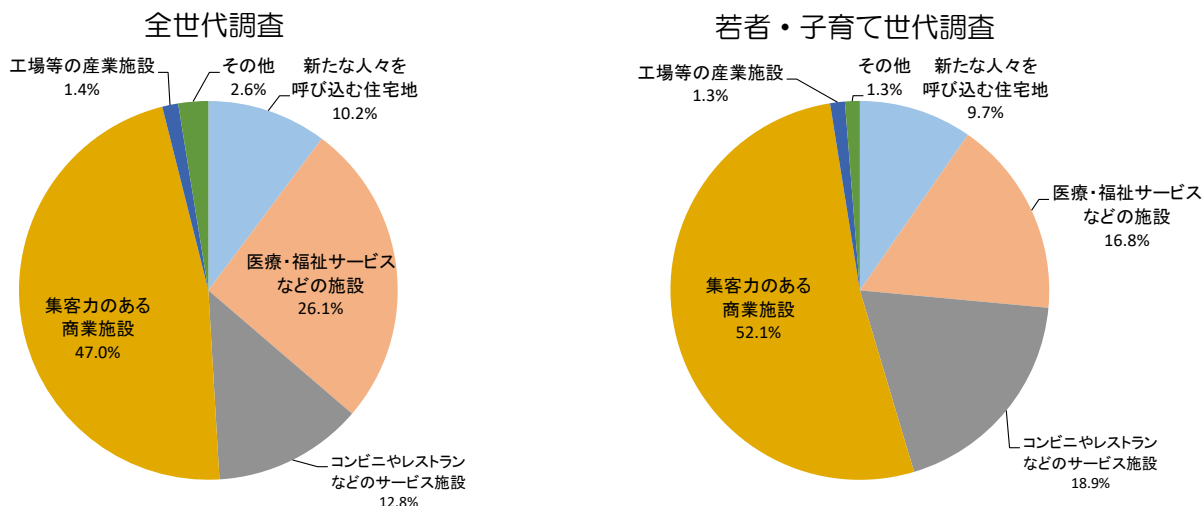
市街化調整区域の土地活用（問 12 SA）※問 11 計画的な土地利用の回答者限定

○全世代調査

- 「集客力のある商業施設」が47.0%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスなどの施設」が26.1%、「コンビニやレストランなどのサービス施設」が12.8%となっています。

○若者・子育て世代調査

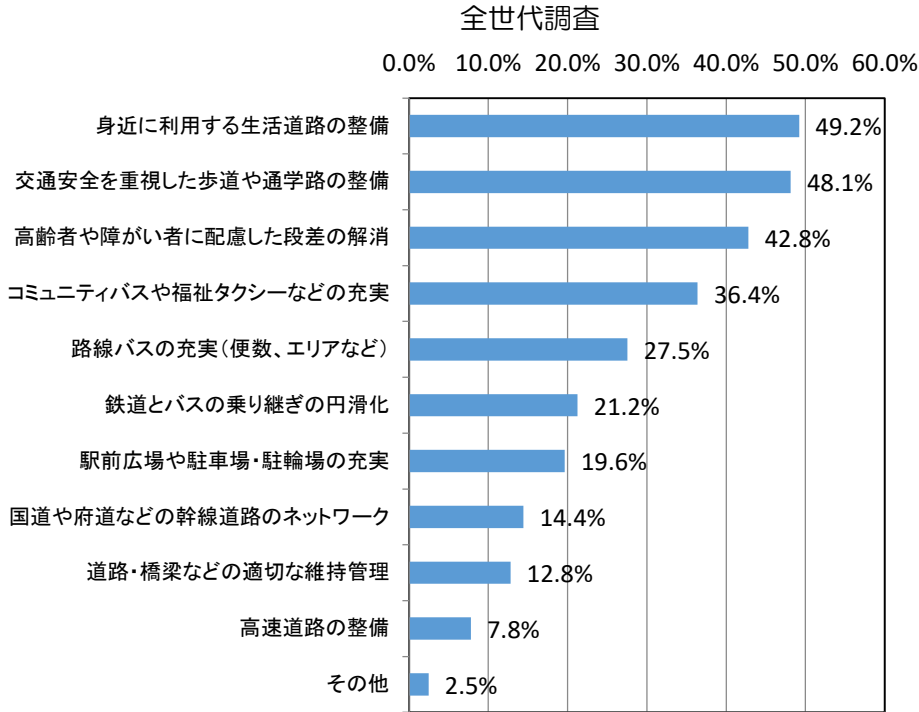
- 「集客力のある商業施設」が52.1%と最も多く、次いで「コンビニやレストランなどのサービス施設」が18.9%、「医療・福祉サービスなどの施設」が16.8%となっています。



交通施設の重要な取組（問 13 MA）

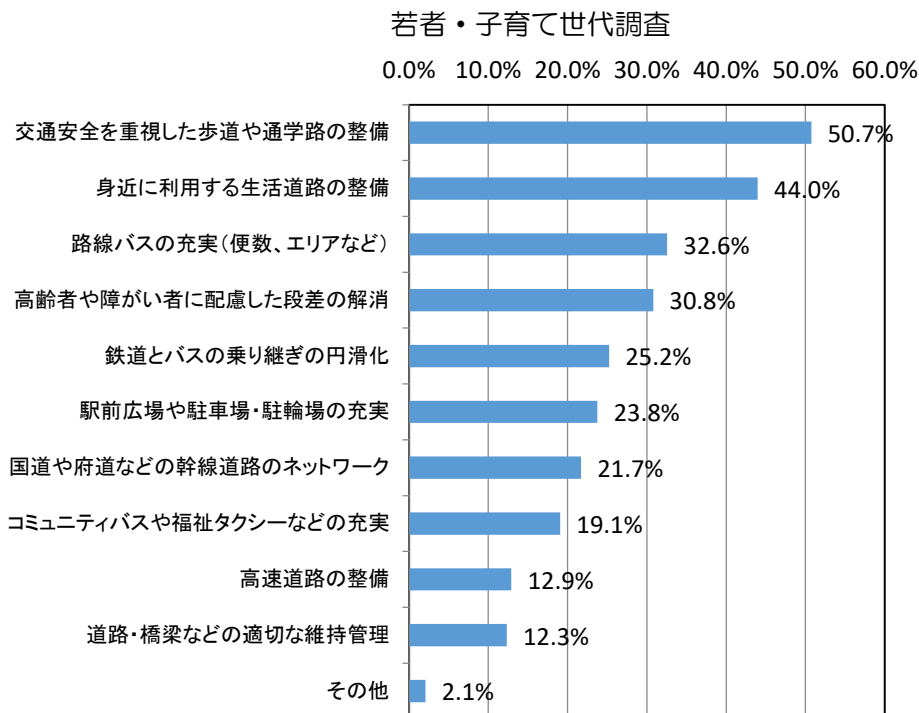
○全世代調査

- 「身近に利用する生活道路の整備」が49.2%、「交通安全を重視した歩道や通学路の整備」が48.1%と特に多くなっています。



○若者・子育て世代調査

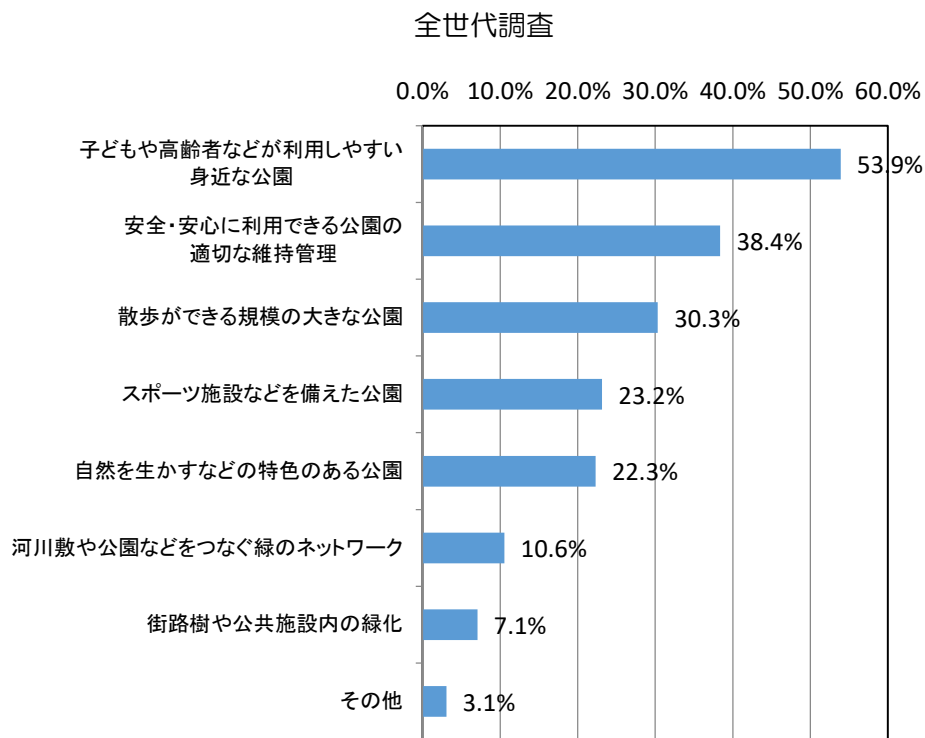
- 「交通安全を重視した歩道や通学路の整備」が50.7%と特に多くなっています。また、「路線バスの充実（32.6%）」、「鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化（25.2%）」など公共交通の取り組みが多い傾向にあります。



公園・緑地の重要な取組（問 14 MA）

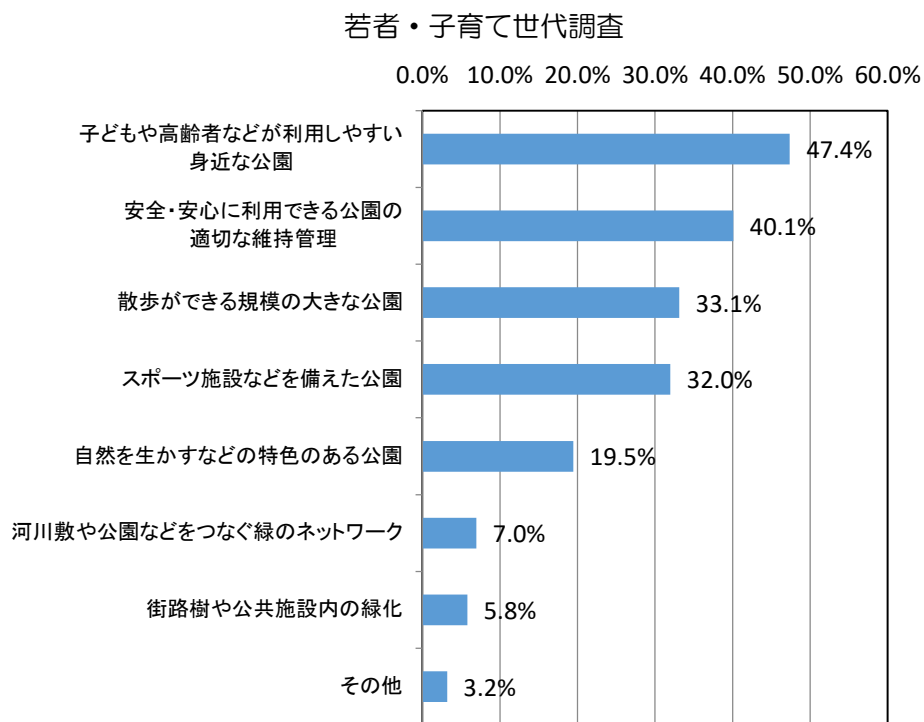
○全世代調査

- 「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園」が53.9%と特に多く、「安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理」が38.4%となっています。



○若者・子育て世代調査

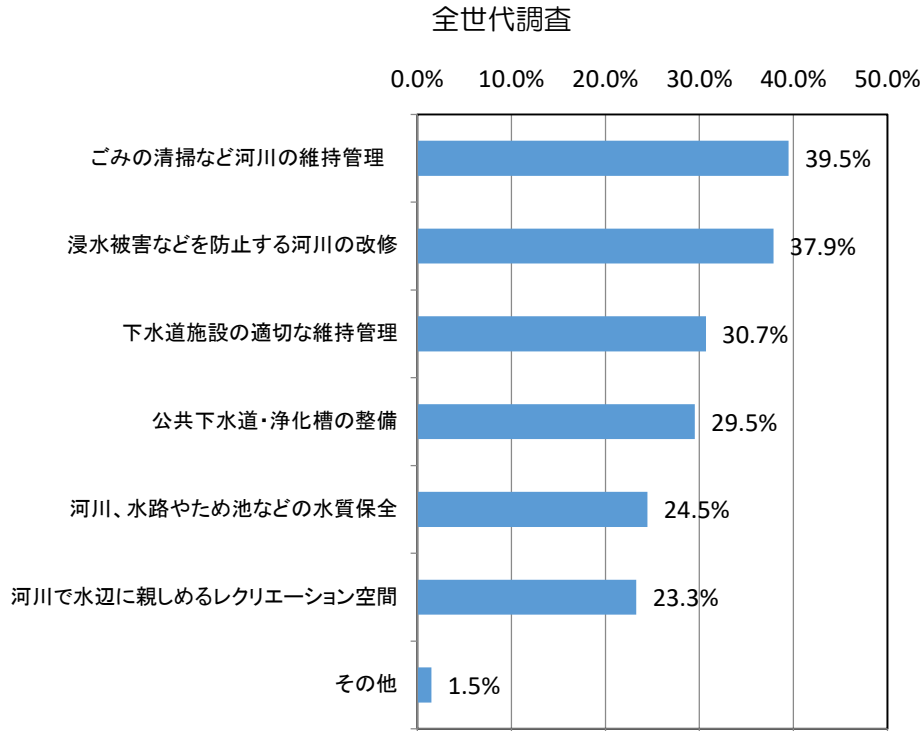
- 「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園」が47.4%と最も多く、次いで「安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理」が40.1%となっています。



下水道・河川の重要な取組（問 15 MA）

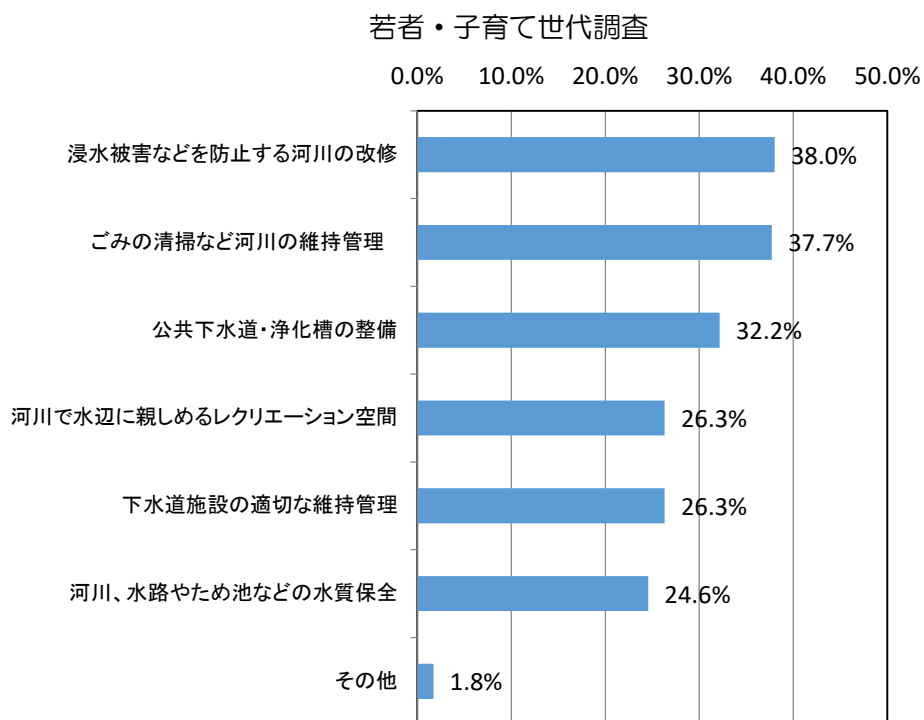
○全世代調査

- 「ごみの清掃など河川の維持管理」が 39.5%、「浸水被害などを防止する河川の改修」が 37.9% と特に多くなっています。



○若者・子育て世代調査

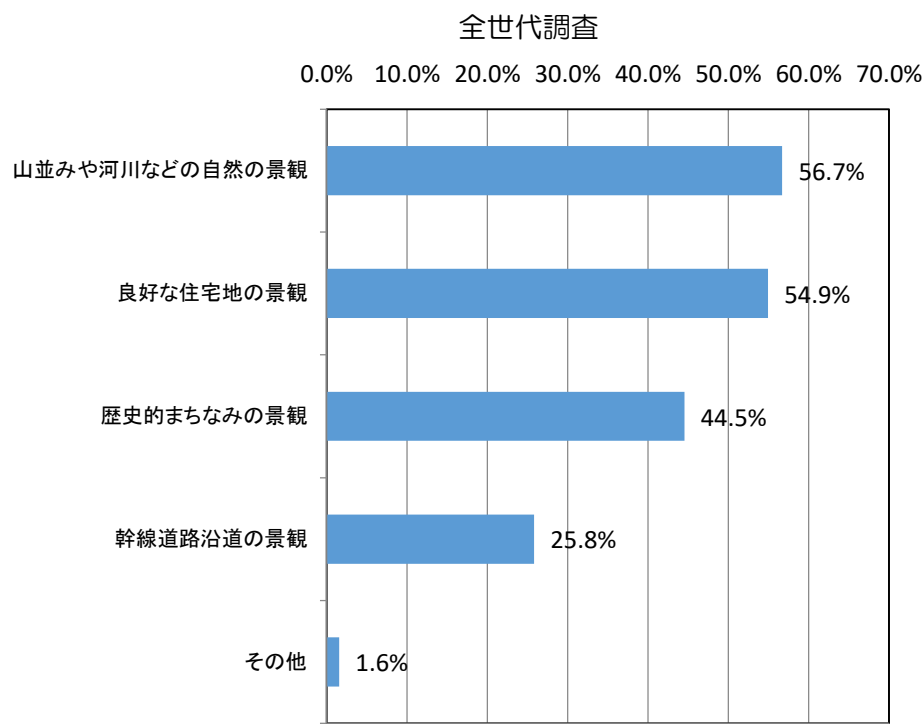
- 「浸水被害などを防止する河川の改修」が 38.0%、「ごみの清掃など河川の維持管理」が 37.7% と特に多くなっています。



景観形成の重要な取組（問 16 MA）

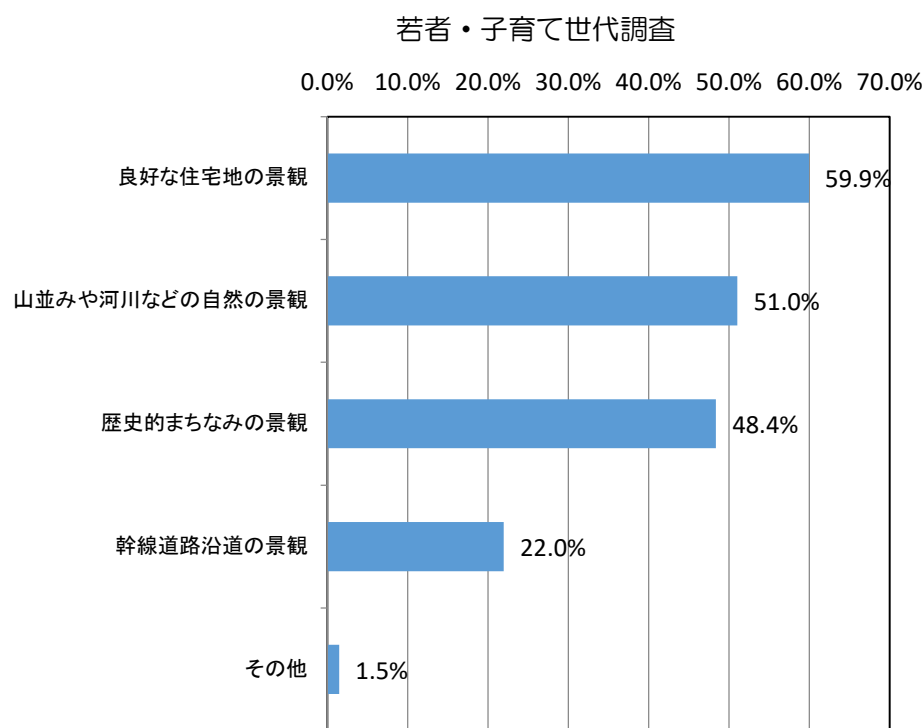
○全世代調査

- 「山並みや河川などの自然の景観」が56.7%と最も多く、次いで「良好な住宅地の景観」が54.9%、「歴史的まちなみの景観」が44.5%となっています。



○若者・子育て世代調査

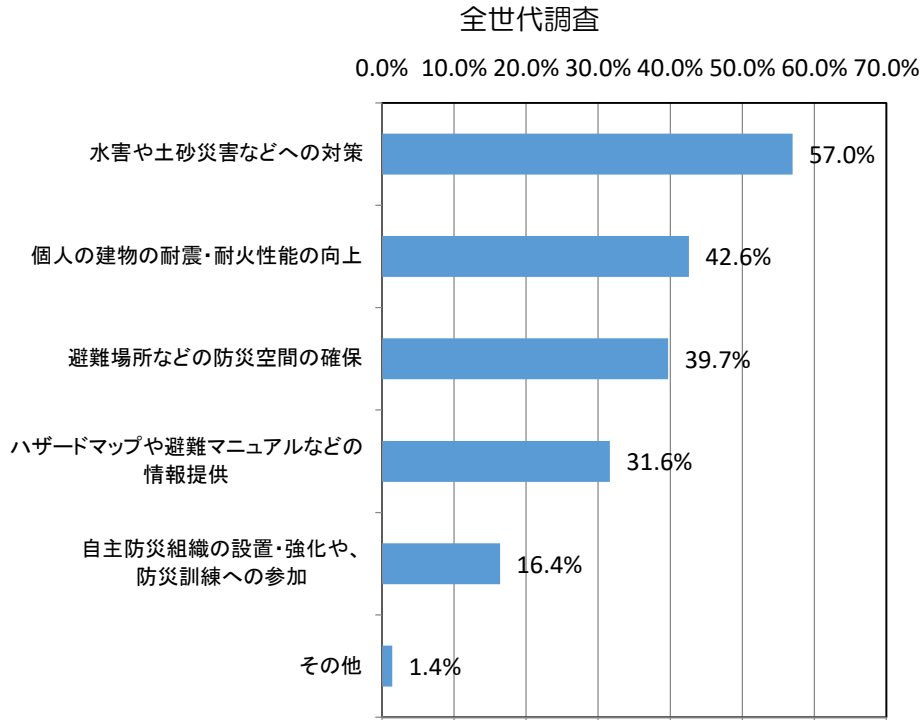
- 「良好な住宅地の景観」が59.9%と最も多く、次いで「山並みや河川などの自然の景観」が51.0%、「歴史的まちなみの景観」が48.4%となっています。



防災対策の重要な取組（問 17 MA）

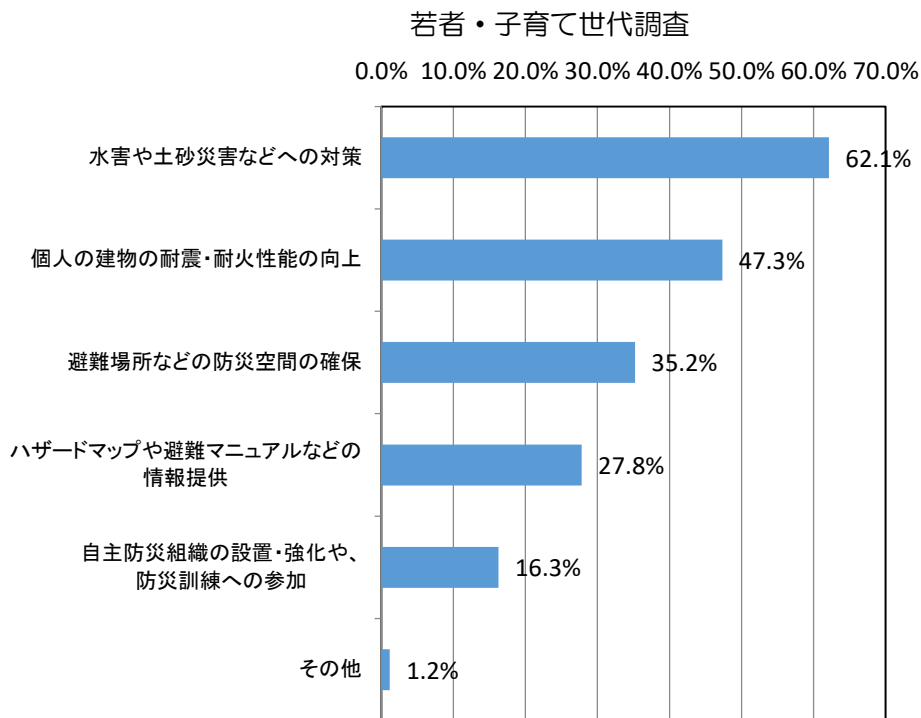
○全世代調査

- 「水害や土砂災害などへの対策」が57.0%と最も多く、次いで「個人の建物の耐震・耐火性能の向上」が42.6%、「避難場所などの防災空間の確保」が39.7%となっています。



○若者・子育て世代調査

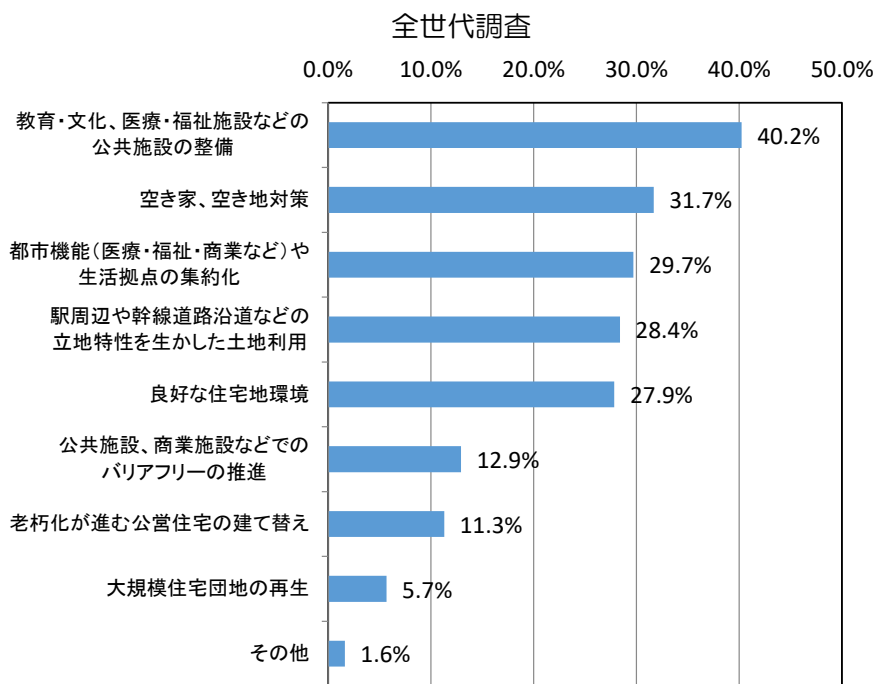
- 「水害や土砂災害などへの対策」が62.1%と最も多く、次いで「個人の建物の耐震・耐火性能の向上」が47.3%、「避難場所などの防災空間の確保」が35.2%となっています。



その他の都市施設の重要な取組（問 18 MA）

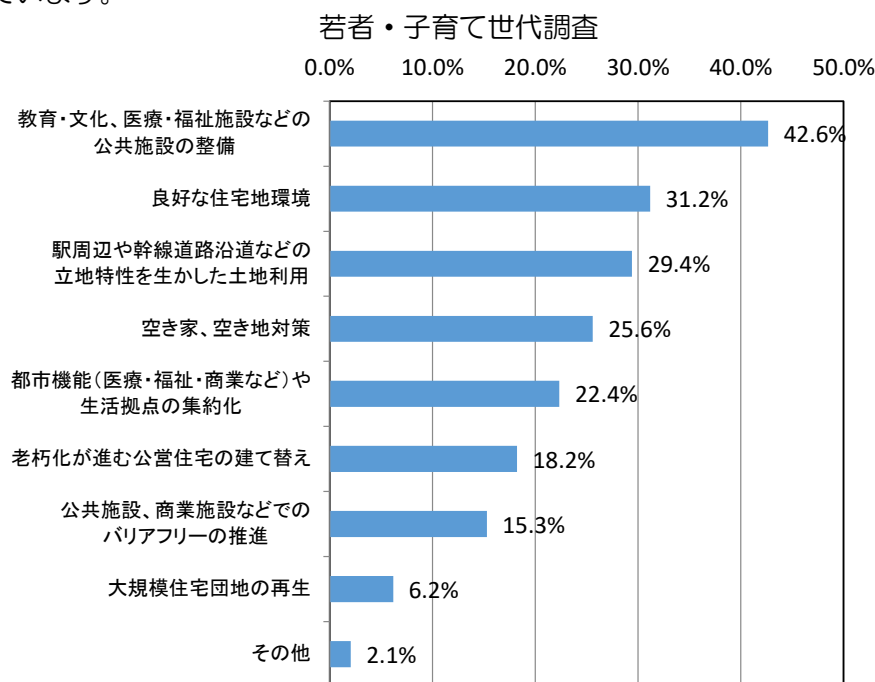
○全世代調査

- 「教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備」が40.2%と最も多く、次いで「空き家、空き地対策」が31.7%、「都市機能（医療・福祉・商業など）や生活拠点の集約化」が29.7%、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が28.4%、「良好な住宅地環境」が27.9%と同程度で多くなっています。



○若者・子育て世代調査

- 「教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備」が42.6%と最も多く、次いで「良好な住宅地環境」が31.2%、「駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用」が29.4%となっています。



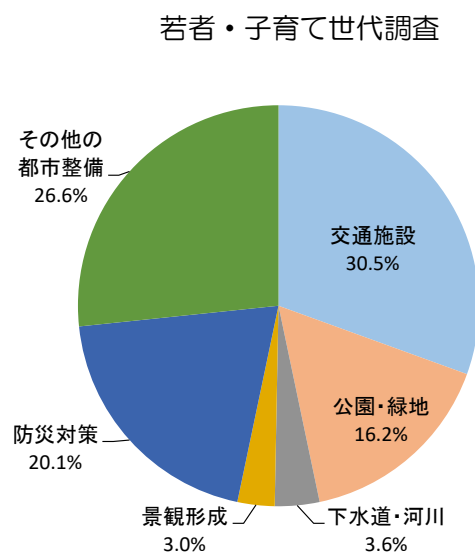
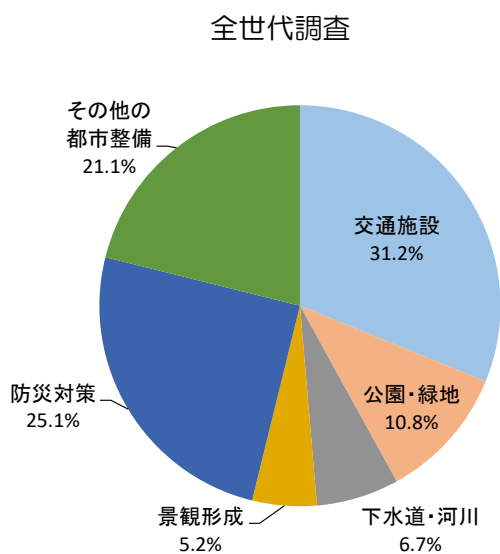
優先して取り組むべき分野（問 19 SA）

○全世代調査

- 「交通施設」が31.2%と最も多く、次いで「防災対策」が25.1%、「その他の都市整備」が21.1%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「交通施設」が30.5%と最も多く、次いで、「その他の都市整備」が26.6%、「防災対策」が20.1%となっています。

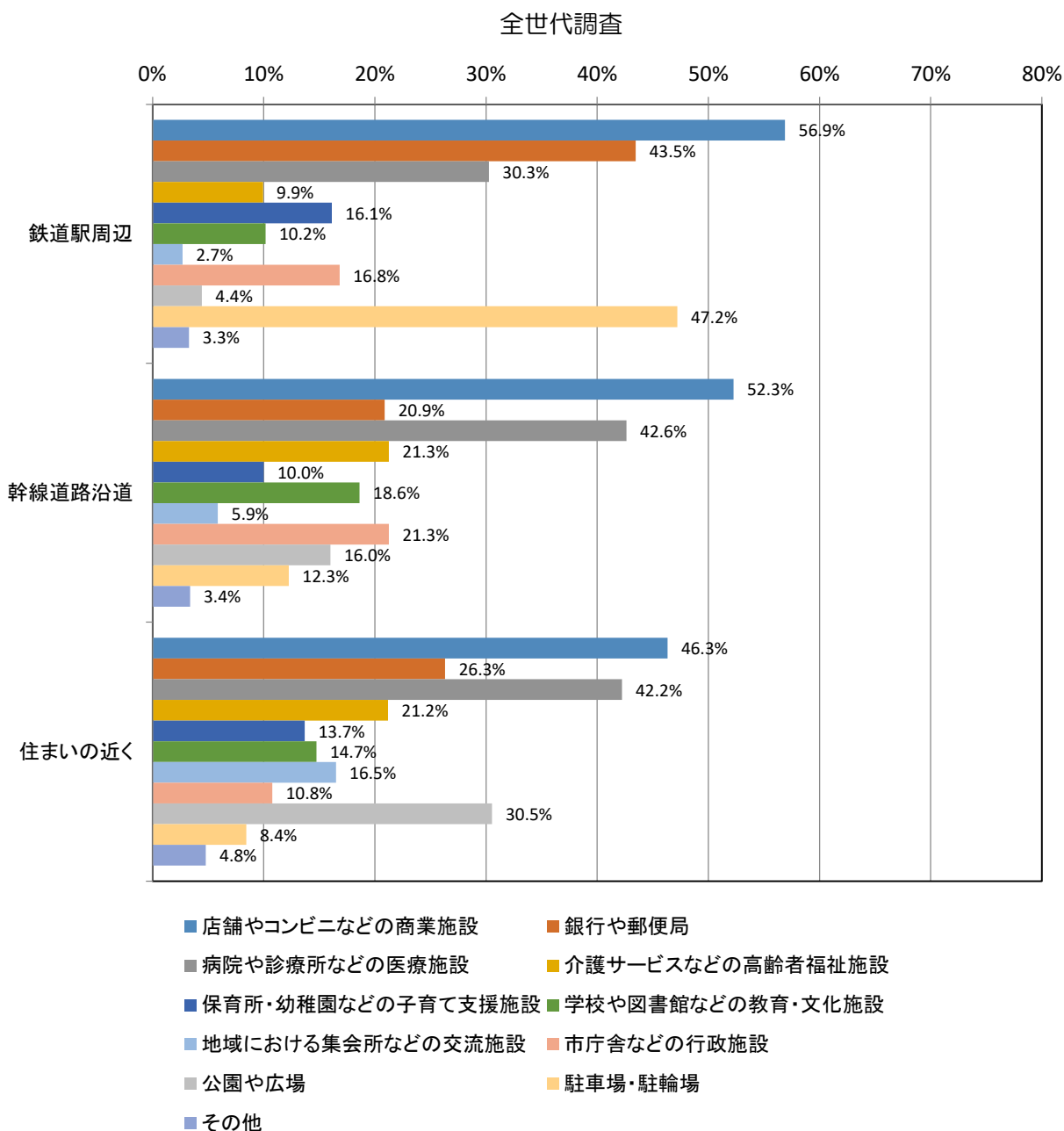


(5)必要な施設について

必要な施設（問 20 MA）

○全世代調査

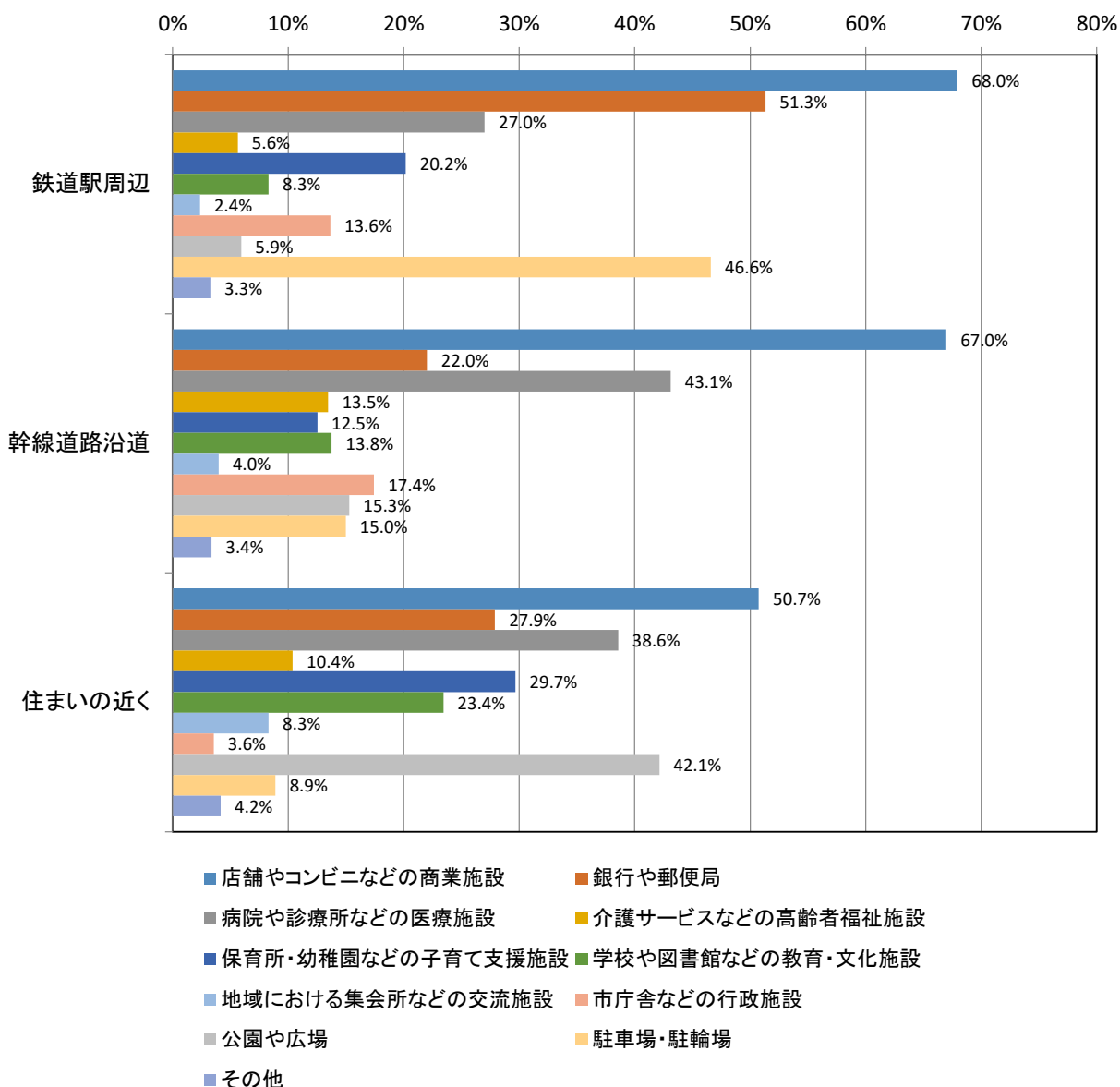
- 鉄道駅周辺では、「店舗やコンビニなどの商業施設」が56.9%と最も多く、次いで「駐車場・駐輪場」が47.2%、「銀行や郵便局」が43.5%、「病院や診療所などの医療施設」が30.3%となっています。
- 幹線道路沿道では、「店舗やコンビニなどの商業施設」が52.3%、「病院や診療所などの医療施設」が42.6%と多くなっています。
- 住まいの近くでは、「店舗やコンビニなどの商業施設」が46.3%、「病院や診療所などの医療施設」が42.2%と多くなっています。



○若者・子育て世代調査

- 鉄道駅周辺では、「店舗やコンビニなどの商業施設」が68.0%と最も多く、次いで「銀行や郵便局」が51.3%、「駐車場・駐輪場」が46.6%となっています。
- 幹線道路沿道では、「店舗やコンビニなどの商業施設」が67.0%と最も多く、次いで「病院や診療所などの医療施設」が43.1%と多くなっています。
- 住まいの近くでは、「店舗やコンビニなどの商業施設」が50.7%と最も多く、次いで「公園や広場」が42.1%、「病院や診療所などの医療施設」が38.6%と多くなっています。

若者・子育て世代調査



(6)自由意見記述欄の紹介について

自由意見記述欄の記入者は440名（延べ671件）で、道路交通、公共交通に関する意見が特に多く、公共施設等、商業、公園・緑地に関する意見なども多く記入されています。

意見内容の概要は、以下のとおりとなります。

順位	項目	記入数	構成比	主な意見
1	道路交通	96	14.3%	歩道の整備や補修、自転車レーンの設置、東西交通網の整備、高速道路の実現化、幹線道路へのアクセス道路や駅前広場の整備など
2	公共交通	92	13.7%	コミュニティバスや路線バスの充実、鉄道との乗継改善、鉄道の複線化、地下鉄の延伸 など
3	公共施設等	67	10.0%	図書館の充実、総合体育館の改修、医療や福祉施設の充実、子育て支援施設の充実など
4	商業	65	9.7%	駅周辺や幹線道路沿道の活性化、大規模集客施設の立地、飲食店の整備など
5	公園・緑地	55	8.2%	ボール遊びができる公園、老若男女が楽しめる公園、公園の維持管理 など
6	市街地整備等	26	3.9%	駅前の整備、土地の有効活用 など
7	防犯	25	3.7%	街灯、防犯カメラの設置 など
8	住宅・空き家等	23	3.4%	金剛団地の再生、空き家の管理 など
9	子育て支援	22	3.3%	保育所の整備、雨天でも遊べる場所 など
10	環境・上下水道	19	2.8%	ごみの収集方法、下水道の整備 など
11	防災	14	2.1%	水害、洪水対策 など
11	景観・美化	14	2.1%	街路樹、公園植栽の管理 など
11	コンパクト化	14	2.1%	商業施設・居住の集約化、身近な施設の充実も など
14	産業・雇用	14	2.1%	工業団地の充実、雇用の確保 など
15	歴史・伝統	12	1.8%	寺内町の活用、だんじりの騒音 など
16	観光等	11	1.6%	PL花火の活用、観光の取組 など
17	高齢者福祉	8	1.2%	介護、高齢者の健康づくり など
18	地域活動・コミュニティ	6	0.9%	地域のまとめり、助け合い など
19	まちのPR	4	0.6%	富田林市の良さのアピール など
—	まちづくり全般	54	8.0%	誰もが暮らしやすいまち など
—	行政（要望等）	19	2.8%	
—	その他	11	1.6%	
	合計	671件	100.0%	

「富田林市都市計画マスタープラン」策定のための 市民アンケート調査（ご協力のお願い）

市民の皆さまには、日頃から富田林市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本市では、都市計画の基本方針である「富田林市都市計画マスタープラン」を策定し、さまざまなまちづくりを進めております。

今回、現在のマスタープランが目標年次を迎えたことや、人口減少・少子高齢化の進行などの社会情勢の変化を踏まえ、「富田林市都市計画マスタープラン」の見直しを行うこととなりました。

つきましては、より効率的で効果的なまちづくりの更なる推進にあたって、市民の皆さまのお考えを参考にさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月

富田林市長 多田 利喜

○回答者の皆さまへ

◆本アンケートは、市民の方を対象に次の方法で実施するものです。

- ・富田林市にお住まいの 18 歳以上の男女から 3,000 人を無作為に抽出する「全世代調査」
- ・18 歳以上 39 歳以下の男女から 1,000 人を無作為に抽出する「若者・子育て世代調査」

◆ご回答は、この調査票を送付させていただいた「あて名」のご本人がお答え下さい。

◆お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理いたします。

○ご記入に際して

◆ご回答は、設問の選択肢の中からあてはまる番号を回答欄にご記入下さい。

◆あてはまるものがない場合はその他の番号を記入の上、（ ）の中に具体的にご記入下さい。

平成 29 年 11 月 15 (水) までにご回答下さい。

◇アンケート用紙にご記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函していただくよう、お願いいたします。

※アンケートについて、ご不明な点やご質問がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

富田林市 まちづくり政策部 まちづくり推進課 政策係

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号

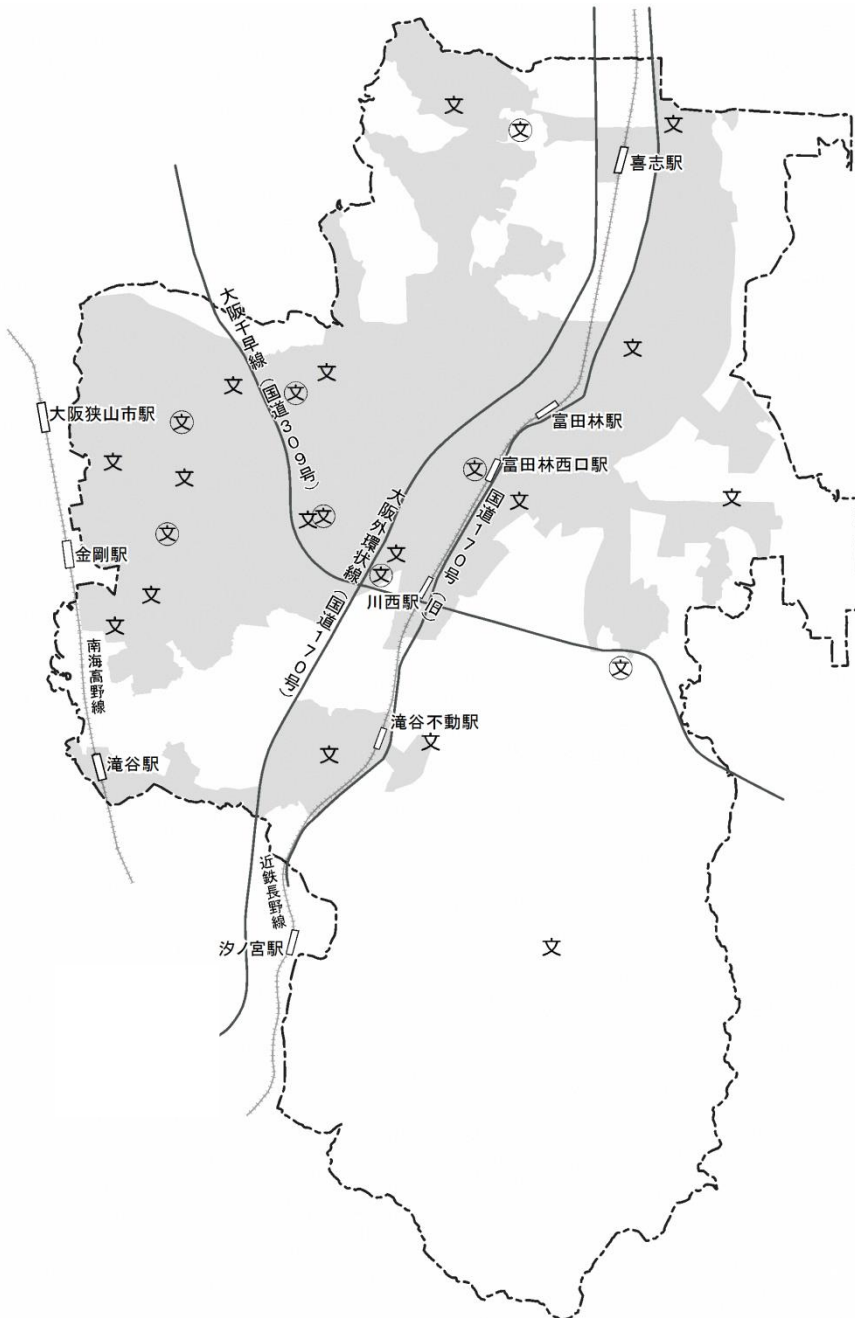
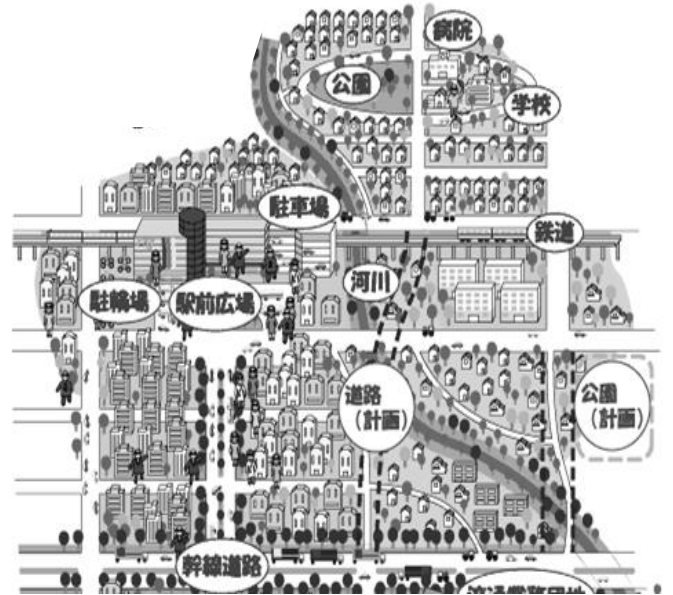
TEL 0721-25-1000(内線 453,459) FAX 0721-24-0269

E-mail: matidukuri@city.tondabayashi.lg.jp

都市計画マスタープランとは

私たちが快適に生活していくためには、市街化区域や市街化調整区域（下図参照）などに基づき、土地の使い方や建物の建て方などに一定のルールを定め、道路・公園・下水道といった都市施設などを計画的に整備していく必要があります。

そのためには、都市全体や身近な地域を将来どのようなまちにすべきかを、市民の皆さまに主体的に考えていただくことが重要であり、これらのご意見などを参考に作成したまちづくりの総合的な計画を「都市計画マスタープラン」と呼んでいます。



富田林市について

総面積	39.72 km ²
東西	約 6.4 km
南北	約 10.1 km

市域のほぼ中央を南北に流れる石川によって形成された中央平野部と、金剛山系に連なる南部の山地部と西部の丘陵部で構成されています。

市内には、近鉄長野線、南海高野線の2つの鉄道や、大阪外環状線（国道170号）、大阪千早線（国道309号）といった広域幹線道路があります。

市街化区域

主に市街地を形成している区域。

市街化調整区域

自然環境や農地を保全するなど市街化を抑制する区域。

文 小学校

⊗ 中学校

A あなたご自身のことについておたずねします。

回答欄に選択肢のあてはまる番号を1つ記入してください。

問1. 性別

回答欄 ① 男性 ② 女性

問2. 年齢

回答欄 ① 20歳未満 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳
⑤ 50～59歳 ⑥ 60～69歳 ⑦ 70～79歳 ⑧ 80歳以上

問3. 職業（主なもの）

回答欄 ① 会社員・公務員 ② 自営業（商店経営、農林業など）
③ パート・アルバイト ④ 学生
⑤ 家事専業 ⑥ 無職
⑦ その他（具体的に)

問4. 居住年数（富田林市にお住まいになって何年ですか。）

回答欄 ① 5年未満 ② 5～9年 ③ 10～19年 ④ 20年以上

問5. 富田林市に今後も住み続けようとお考えですか。

回答欄 ① 住み続けたい ② 市内で転居したい ③ 市外に転出したい

問6. あなたの買い物場所は。

ア. 日用品の買い物場所 ⇒ 回答欄 イ. 日用品以外の買い物場所 ⇒ 回答欄
(生鮮食品や日用雑貨)

① 富田林駅周辺 ② 富田林西口駅周辺
③ 喜志駅周辺 ④ 川西駅周辺
⑤ 滝谷不動駅周辺 ⑥ 滝谷駅周辺
⑦ 金剛駅周辺 ⑧ 金剛東地区周辺
⑨ 市内の幹線道路沿道 ⑩ ①～⑨以外の住まいの近く
⑪ その他（アについて) (イについて)

問7. 買い物場所への移動手段は。（主な番号を2つ以内）

ア. 日用品購入のための移動手段 ⇒ 回答欄 イ. 日用品以外購入のための移動手段 ⇒ 回答欄

① 徒歩 ② 自転車 ③ バイク ④ 自家用車
⑤ 鉄道 ⑥ バス ⑦ タクシー
⑧ その他（アについて) (イについて)

問 8. お住まいの場所（下表の中からお住まいの住所に○をつけてください。）

記入例	あ	青葉丘	こ	○	小金台1丁目	て	寺池台1丁目
		旭ヶ丘町			小金台2丁目		寺池台2丁目
		粟ヶ池町			小金台3丁目		寺池台3丁目

あ	青葉丘	こ	○	寺池台1丁目	ふ	藤沢台1丁目
	旭ヶ丘町			寺池台2丁目		藤沢台2丁目
	粟ヶ池町			寺池台3丁目		藤沢台3丁目
う	梅の里1丁目	こ		寺池台4丁目	ふ	藤沢台4丁目
	梅の里2丁目			寺池台5丁目		藤沢台5丁目
	梅の里3丁目			常盤町		藤沢台6丁目
お	梅の里4丁目	こ		富田林町	ふ	藤沢台7丁目
	大字嬉			中野町1丁目		大字伏見堂
	大字彼方			中野町2丁目		伏山1丁目
か	かがり台	こ		中野町3丁目	ふ	伏山2丁目
	加太1丁目			中野町西1丁目		伏山3丁目
	加太2丁目			中野町西2丁目		不動ヶ丘町
き	加太3丁目	さ		中野町東1丁目	へ	富美ヶ丘町
	川面町1丁目			中野町東2丁目		別井1丁目
	川面町2丁目			楠風台1丁目		別井2丁目
き	川向町	さ		楠風台2丁目	へ	別井3丁目
	大字甘南備			楠風台3丁目		別井4丁目
	喜志町1丁目			西板持町1丁目		別井5丁目
き	喜志町2丁目	し		西板持町2丁目	ほ	本町
	喜志町3丁目			西板持町3丁目		緑ヶ丘町
	喜志町4丁目			西板持町4丁目		南旭ヶ丘町
き	喜志町5丁目	し		西板持町5丁目	ほ	南大伴町1丁目
	大字喜志			西板持町6丁目		南大伴町2丁目
	喜志新家町1丁目			西板持町7丁目		南大伴町3丁目
き	喜志新家町2丁目	す		西板持町8丁目	ほ	南大伴町4丁目
	北大伴町1丁目			西板持町9丁目		宮町1丁目
	北大伴町2丁目			大字錦織		宮町2丁目
く	北大伴町3丁目	す		錦織北1丁目	ほ	宮町3丁目
	北大伴町4丁目			錦織北2丁目		宮甲田町
	木戸山町			錦織北3丁目		美山台
こ	楠町	た		錦織中1丁目	や	山中田町1丁目
	久野喜台1丁目			錦織中2丁目		山中田町2丁目
	久野喜台2丁目			錦織中3丁目		山中田町3丁目
こ	谷川町	つ		錦織東1丁目	よ	山手町
	通法寺町			錦織東2丁目		大字横山
	大字廿山			錦織東3丁目		大字龍泉
こ	甲田1丁目	つ		錦織南1丁目	わ	若松町1丁目
	甲田2丁目			錦織南2丁目		若松町2丁目
	甲田3丁目			錦ヶ丘町		若松町3丁目
こ	甲田4丁目	つ		東板持町1丁目	わ	若松町4丁目
	甲田5丁目			東板持町2丁目		若松町5丁目
	甲田6丁目			東板持町3丁目		若松町東1丁目
こ	津々山台1丁目	つ		平町1丁目	わ	若松町東2丁目
	津々山台2丁目			平町2丁目		若松町東3丁目
	津々山台3丁目					若松町西1丁目
こ	津々山台4丁目	つ			わ	若松町西2丁目
	津々山台5丁目					若松町西3丁目
	向陽台1丁目					
こ	向陽台2丁目					
	向陽台3丁目					
	向陽台4丁目					
こ	向陽台5丁目					

B 現状の生活環境に対する評価についておたずねします。

問9. お住まいの地域における現状の生活環境について、どのように感じておられますか。それぞれの項目についてお答えください。(あなたの感じ方に最も近い番号1つに○をつけてください。)

区 分		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	非常に不満
【記入例】	10. 散歩ができる規模の大きな公園	1	2	③	4	5
①交通施設	1. 国道や府道など幹線道路のネットワーク	1	2	3	4	5
	2. 身近に利用する生活道路の整備	1	2	3	4	5
	3. 道路・橋梁などの適切な維持管理	1	2	3	4	5
	4. 交通安全を重視した歩道や通学路の整備	1	2	3	4	5
	5. 高齢者や障がい者に配慮した段差の解消	1	2	3	4	5
	6. 駅前広場や駐車場・駐輪場の充実	1	2	3	4	5
	7. 鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化	1	2	3	4	5
	8. 路線バスの充実(便数、エリアなど)	1	2	3	4	5
	9. コミュニティバスや福祉タクシーなどの充実	1	2	3	4	5
②公園・緑地	10. 散歩ができる規模の大きな公園	1	2	3	4	5
	11. 自然を生かすなどの特色のある公園	1	2	3	4	5
	12. スポーツ施設などを備えた公園	1	2	3	4	5
	13. 子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園	1	2	3	4	5
	14. 安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理	1	2	3	4	5
	15. 街路樹や公共施設内の緑化	1	2	3	4	5
	16. 河川敷や公園などをつなぐ緑のネットワーク	1	2	3	4	5
③下水道・河川	17. 公共下水道・浄化槽の整備	1	2	3	4	5
	18. 下水道施設の適切な維持管理	1	2	3	4	5
	19. 浸水被害などを防止する河川の改修	1	2	3	4	5
	20. 河川で水辺に親しめるレクリエーション空間	1	2	3	4	5
	21. 河川、水路やため池などの水質保全	1	2	3	4	5
	22. ごみの清掃など河川の維持管理	1	2	3	4	5
④景観形成	23. 歴史的まちなみの景観	1	2	3	4	5
	24. 良好な住宅地の景観	1	2	3	4	5
	25. 幹線道路沿道の景観	1	2	3	4	5
	26. 山並みや河川などの自然の景観	1	2	3	4	5
⑤防災対策	27. 個人の建物の耐震・耐火性能の向上	1	2	3	4	5
	28. 水害や土砂災害などへの対策	1	2	3	4	5
	29. 避難場所などの防災空間の確保	1	2	3	4	5
	30. 自主防災組織の設置・強化や、防災訓練への参加	1	2	3	4	5
	31. ハザードマップや避難マニュアルなどの情報提供	1	2	3	4	5
⑥その他 都市整備	32. 良好な住宅地環境	1	2	3	4	5
	33. 大規模住宅団地の再生	1	2	3	4	5
	34. 空き家・空き地対策	1	2	3	4	5
	35. 老朽化が進む公営住宅の建て替え	1	2	3	4	5
	36. 駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用	1	2	3	4	5
	37. 教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備	1	2	3	4	5
	38. 公共施設、商業施設などでのバリアフリーの推進	1	2	3	4	5
	⑦総合評価	39. 総合的にみた住みごころ	1	2	3	4

C まちの将来像についておたずねします。

問 10. あなたがお住まいの地域について、将来どのようなまちになることが望ましいとお考えですか。
(あてはまる番号を3つ以内)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 閑静で落ち着いた雰囲気のみち
	<input type="checkbox"/>	② 買い物に便利なまち
	<input type="checkbox"/>	③ 近隣に働ける場所があるまち
		④ 交通ネットワークが整ったまち
		⑤ 身近にみどりを感じられる自然豊かなまち
		⑥ 田畑や果樹園など農業を身近に感じるまち
		⑦ 近所づきあいの活発な地域コミュニティの充実したまち
		⑧ 医療・福祉施設などの環境が整った子育てしやすいまち
		⑨ 防災体制の充実した安全で安心して暮らせるまち
		⑩ その他 (具体的に)

D まちづくりの取り組みについておたずねします。

問 11. 「市街化調整区域(市街化を抑制する区域)※P2参照」は今後、どのようにすることが良いとお考えですか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 駅周辺に限定して、計画的な土地利用を進める
		② 幹線道路沿道に限定して、計画的な土地利用を進める
		③ 現状のまま、市街化を抑制する
		④ 積極的に、農地や山林を保全・育成する
		⑤ その他 (具体的に)

問 11 で、①又は②とお答えになった方のみ、問 12 へお進み下さい。

それ以外のお答えの方は、問 13 へお進み下さい。

問 12. 前問(問 11)について、どのような土地利用が望ましいとお考えですか。(あてはまる番号を1つ)

(問 11 で①又は②とお答えになった方のみ)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 新たな人々を呼び込む住宅地
		② 医療・福祉サービスなどの施設
		③ コンビニやレストランなどのサービス施設
		④ 集客力のある商業施設
		⑤ 工場等の産業施設
		⑥ その他 (具体的に)

問 13. 今後、交通施設について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を3つ以内)

回答欄

- ① 高速道路の整備
- ② 国道や府道などの幹線道路のネットワーク
- ③ 身近に利用する生活道路の整備
- ④ 道路・橋梁などの適切な維持管理
- ⑤ 交通安全を重視した歩道や通学路の整備
- ⑥ 高齢者や障がい者に配慮した段差の解消
- ⑦ 駅前広場や駐車場・駐輪場の充実
- ⑧ 鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化
- ⑨ 路線バスの充実（便数、エリアなど）
- ⑩ コミュニティバスや福祉タクシーなどの充実
- ⑪ その他（具体的に)

問 14. 今後、公園・緑地について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を2つ以内)

回答欄

- ① 散歩ができる規模の大きな公園
- ② 自然を生かすなどの特色のある公園
- ③ スポーツ施設などを備えた公園
- ④ 子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園
- ⑤ 安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理
- ⑥ 街路樹や公共施設内の緑化
- ⑦ 河川敷や公園などをつなぐ緑のネットワーク
- ⑧ その他（具体的に)

問 15. 今後、下水道・河川について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を2つ以内)

回答欄

- ① 公共下水道・浄化槽の整備
- ② 下水道施設の適切な維持管理
- ③ 浸水被害などを防止する河川の改修
- ④ 河川で水辺に親しめるレクリエーション空間
- ⑤ 河川、水路やため池などの水質保全
- ⑥ ごみの清掃など河川の維持管理
- ⑦ その他（具体的に)

問 16. 今後、景観形成について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を2つ以内)

回答欄

- ① 歴史的まちなみの景観
- ② 良好な住宅地の景観
- ③ 幹線道路沿道の景観
- ④ 山並みや河川などの自然の景観
- ⑤ その他 (具体的に)

問 17. 今後、防災対策について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を2つ以内)

回答欄

- ① 個人の建物の耐震・耐火性能の向上
- ② 水害や土砂災害などへの対策
- ③ 避難場所などの防災空間の確保
- ④ 自主防災組織の設置・強化や、防災訓練への参加
- ⑤ ハザードマップや避難マニュアルなどの情報提供
- ⑥ その他 (具体的に)

問 18. 今後、その他の都市整備について何が重要だとお考えですか。(あてはまる番号を2つ以内)

回答欄

- ① 良好な住宅地環境
- ② 大規模住宅団地の再生
- ③ 空き家、空き地対策
- ④ 老朽化が進む公営住宅の建て替え
- ⑤ 駅周辺や幹線道路沿道などの立地特性を生かした土地利用
- ⑥ 教育・文化、医療・福祉施設などの公共施設の整備
- ⑦ 公共施設、商業施設などでのバリアフリーの推進
- ⑧ 都市機能(医療・福祉・商業など)や生活拠点の集約化
- ⑨ その他 (具体的に)

問 19. 問 13~18 では分野ごとに重要な取り組みをお聞きしましたが、特にどの分野に優先して取り組むべきだとお考えですか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① 交通施設 (問 13) ② 公園・緑地 (問 14)
- ③ 下水道・河川 (問 15) ④ 景観形成 (問 16) ⑤ 防災対策 (問 17)
- ⑥ その他の都市整備 (問 18)

E 必要な施設についておたずねします。

問 20. 市内の鉄道駅周辺や幹線道路沿道、お住まいの近くにどのような施設が必要とお考えですか。

(あてはまる番号を3つ以内)

ア.市内の鉄道駅周辺に必要な施設は	⇒	回答欄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ.市内の幹線道路沿道に必要な施設は	⇒	回答欄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ.お住まいの近くに必要施設は	⇒	回答欄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 店舗やコンビニなどの商業施設 | ② 銀行や郵便局 |
| ③ 病院や診療所などの医療施設 | ④ 介護サービスなどの高齢者福祉施設 |
| ⑤ 保育所・幼稚園などの子育て支援施設 | ⑥ 学校や図書館などの教育・文化施設 |
| ⑦ 地域における集会所などの交流施設 | ⑧ 市庁舎などの行政施設 |
| ⑨ 公園や広場 | ⑩ 駐車場・駐輪場 |
| ⑪ その他 (アについて) | |
| (イについて) | |
| (ウについて) | |

F その他、今後のまちづくりに関して、ご意見を自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

●ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れ、11月15日までに、切手を貼らずに投函してください。